

【別冊】 個別事業版



ひょうごフィールドパビリオン

Our Field, Our SDGs

私たちのフィールド、私たちのSDGs

2025年2月10日 兵庫県





1	ひょうごフィールドパビリオンの展開	P 3
2	万博会場「兵庫県ゾーン」・ひょうご EXPO TERMINAL(兵庫県立美術館)における魅力発信	P 31
3	ひょうご EXPO week(兵庫県版テーマウィーク)による魅力発信	P 35
4	ひょうご EXPO 41(リージョナルデー「市町の日」)による魅力発信	P 77
5	ひょうご EXPO DREAM BUILDERS(子どもの夢プロジェクト)の実施	P 79
6	公民連携による万博子ども招待プロジェクト	P 82
7	会期中のイベント・プロモーションの実施	P 84
8	推進体制の構築	P152
9	連絡窓口	P154
10	施策別体系一覧	P160

1 ひょうごフィールドパビリオンの展開




HYOGO **Field**
Pavilion
ひょうごフィールドパビリオン

1 ひょうごフィールドパビリオンの展開



- ・地域の「SDGsを体現する活動の現場そのもの(フィールド)」を地域の人々が主体となって発信し、多くの人を誘い、見て、学び、体験していただく「**ひょうごフィールドパビリオン(FP)**」を展開する。
- ・**万博後にも継続する地域活力の創出に向けて**、「躍動する兵庫」を切り拓いていく**地域のヒーロー**に光を当てる。

21世紀型万博の意義 人類共通の課題解決 (アイデア) を発信する場

兵庫五国での取組には
**世界が持続可能な発展
を遂げていくための多くの
ヒントが秘められている**

兵庫では、歴史も風土も異なる個性豊かな五国において、
地域の人々が主体的に課題解決に取り組み、未来を切り拓いてきた

- 阪神・淡路大震災からの **創造的復興**
- 人と環境にやさしい **循環型農業**
- 豊饒な大地や海に育まれた **食材**
- 挑戦を繰り返してきた **地場産業**
- 郷土の自然と暮らしの中で受け継がれてきた **芸術文化**



大阪・関西万博に合わせ、「ひょうごフィールドパビリオン」を展開

経済

- 地場産業の継承・発展
- 交流人口の増加
- 企業・産業の誘致
- 企業ブランドの向上
- 若者の県内就職の増加

社会

- シビックプライドの醸成
- 定住人口の増加
- 住環境の改善、
地域の魅力向上
- 地域文化の保護・育成

環境

- 持続可能なライフスタイルの構築
- 環境負荷の低減
- 環境に取り組む人材・団体の増加

<三側面をつなぐ
統合的取組>



ひょうごフィールドパビリオン
Our Field, Our SDGs
私たちのフィールド、私たちのSDGs

260件を認定
(R7.1.28時点)

※万博開幕後も募集を継続

<プログラム例>



「日本六古窯」丹波焼の里を訪ねる

9件をプレミア・プログラムに選定



新発見！デザイナーtamaki niimeによる
播州織のものづくり体験

**定住・交流人口の増加、持続可能な地域の
実現、地域内経済循環の構築を目指す**

1 ひょうごフィールドパビリオンの展開

【R7事業費：76百万円】



(1) プロモーションの展開

- ・WEBサイト等による情報発信によりフィールドパビリオンの認知度向上を図るとともに、国内外に積極的にプロモーションし、兵庫への誘客を戦略的に展開。
- ・旅行商品化の促進など、国内外から兵庫各地への人の流れが万博後も継続する仕組みの確立をめざす。

R5・6
年度

国内外への旅行博や航空会社就航地イベント等へ出展したほか、インフルエンサーを活用したモニターツアーやファミリップを実施。専用サイトやSNS等を活用した情報発信を展開し、誘客促進を図ってきた。

R7
年度

2025年 大阪・関西万博 開催中のプロモーション 【フィールドパビリオンの認知度向上、誘客促進】

海外向けプロモーション

✓ 訪日時の訪問先としての組み込みを促進

(1) 旅行博等への出展(海外事務所等)

海外事務所を中心に、海外で実施される旅行博等へ出展するとともに、ファミリップを実施

国内向けプロモーション

✓ 旅行商品化の促進 ✓ 校外学習等の活用を働きかけ

(1) 旅行博等への出展

国内最大旅行博「ツuris ΔEXPOジャパン」や県内外で開催される各地のイベントへの出展

(2) 就航先等でのプロモーションの展開

就航先でのプロモーションイベントを開催するとともに、機内誌や案内所等での広報の実施

WEBサイト・広報素材等による情報発信 ✓ 万博期間中への県内誘客促進

(1) 専用WEBサイトやSNS等を活用したプロモーションイベントカレンダーなど専用WEBサイトの活用、Instagram等のSNSを活用したキャンペーンの実施、インフルエンサーを活用した情報発信等を展開

(2) メディアの活用によるプロモーション

国内外のWEBメディアや広告等でのフィールドパビリオンの動画配信、地域特集冊子やポスター・チラシ等の配布



専用サイト <https://expo2025-hyogo-fieldpavilion.jp>



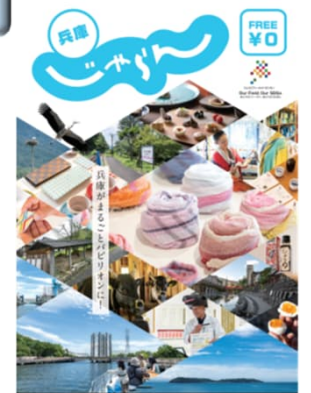
Instagram



[@hyogo_field_pavilion](https://hyogo_field_pavilion)



地域特集冊子



国内外から兵庫各地域への人の流れを生み、万博後も継続できる仕組みの確立をめざす

1 ひょうごフィールドパビリオンの展開

(2) プログラムの磨き上げ

【R7事業費：10百万円】



- これまで取り組んできた磨き上げ研修等を踏まえて、**万博に向けて準備してきた内容と万博期間中の実践の振り返りと検証を行い、解決に向けた磨き上げを実施。**
- プレイヤーへのアンケート調査を行い、企画委員会において方向性の議論・効果検証を実施。**万博後の継続を前提とした在り方について、検討結果を公表。**

R5・6
年度

誘客プログラムとしての魅力向上と受け入れ体制整備を図るために、基礎知識や、マーケティング視点からのプログラム見直し等の座学研修や、プレイヤー同士が相互訪問し、**プレイヤー等のネットワーク化を促進する**実地研修を実施。

R7
年度

2025年 大阪・関西万博

誘客プログラムとしての万博期間中の実践を踏まえた検証と活用

① 商品化支援

ツアー造成に向けた商談会及び
エクスカージョンの実施

- プレイヤーと旅行会社のマッチングやエクスカージョン等を実施し、旅行商品化を支援



② 磨き上げ研修

万博に向けた取組と実践を振り返るワークショップ型研修の実施

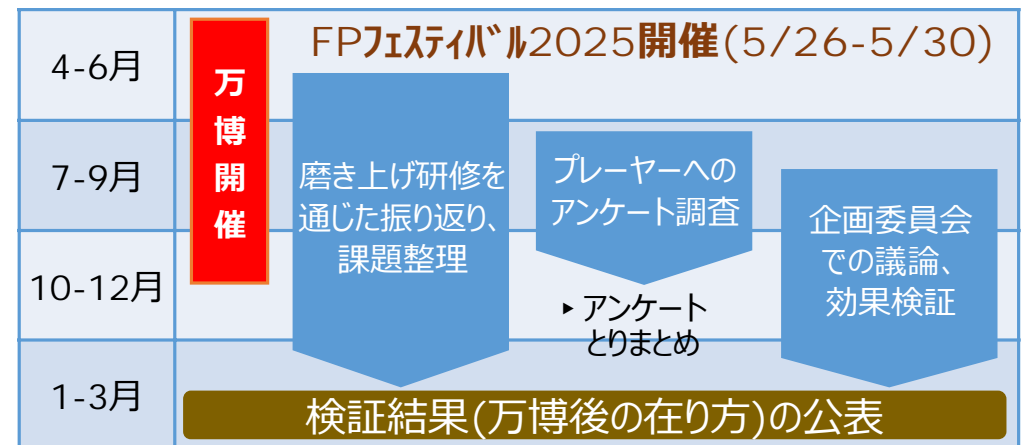
- これまで準備してきた内容が、万博でどう活かされ、どのような課題があったのかを検証
- 検証結果を踏まえ、さらなるステップアップを目指す



③ 万博後の継続に向けた在り方検討

プレイヤーへのアンケート調査、企画委員会での議論を通じた在り方検討

- FPフェス終了後、順次プレイヤーへのアンケート、ヒアリングを実施
- 企画委員会における方向性の議論、効果検証を行い、万博後の在り方を公表



国内外から兵庫各地域への人の流れを生み、万博後も継続できる仕組みの確立をめざす

1. 事業概要

「防災」と「ツーリズム」を組み合わせることで、「楽しみながら防災を学ぶ」、「防災意識の向上とともに地域の魅力を堪能する」という相乗効果により、持続可能な、一過性にならない「防災意識の向上」と「地域の活性化」の両立を図る。創造的復興を次世代へ継承し、次なる災害に備えるため、安全安心で災害に強い社会づくりのための方策を提示。

2. R7年度の実施内容【4百万円】

- ・県内の防災関連資源と周辺の観光資源を組み合わせたツアーが民間事業者により市場化し、防災ツーリズムが普及・定着。（人と防災未来センター、三木広域防災センターや震災遺構等を活用）
- ・国内被災地の知事、海外の被災自治体等が出席する「創造的復興サミット」でのエクスカージョンや、万博・ワールドパビリオン参加者等へ向けたプロモーションにより、国内外に阪神・淡路大震災からの「創造的復興」「防災先進県ひょうご」としての取組を発信。

(1) プロモーションツールの作成

① 動画、パンフレットの作成等

防災ツーリズムの普及・定着に向けて、防災ツーリズムの意義や理念、体験ストーリー（プログラム等）の情報等を纏めた動画・パンフレットを作成。それらのプロモーションツール（動画、パンフレット）を活用して、防災ツーリズムを幅広く周知。

② 専用ホームページの運営等

プロモーション動画や体験ストーリー（プログラム）の情報掲載等、防災ツーリズムに関する様々な情報を防災ツーリズム専用ホームページに掲載の上、積極的に発信。



人と防災未来センター



広域防災センター

3. ロードマップ

項目	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)
全体スケジュール プロモーションツールの作成等	戦略の立案	戦略に基づく施策の実施・検証・改善	市場化、普及・定着 プロモーションツールの作成及び活用

1. 事業概要

里山保全が盛んな兵庫県北摂地域（宝塚市、川西市、猪名川町の一部）でのフィールドパビリオンに認定されたSDGs体験型地域プログラム等を通じ、脱炭素、資源循環、自然共生に総合的アプローチする「北摂里山地域循環共生圏」の構築に向け、機運の向上を図る。

2. R7年度実施内容

(1) 里山の魅力発信

大阪・関西万博の来訪者などを対象として、北摂里山地域での取組内容や地域で活動する方々を紹介するebookを用いて情報発信

- 【掲載内容】
- ・川西市東谷地区 : 台場クヌギを材料とする菊炭生産・里山保全 など
 - ・猪名川町中谷地区 : 里山林を活用した原木栽培でのシタケ作り など
 - ・宝塚市西谷地区 : 県有環境林を活用したエネルギーの地産地消 など

(2) 次世代からの情報発信

次世代を担うZ世代を対象として、北摂里山地域の持続可能な保全に向けた見学ツアー・ワークショップを開催し、Z世代から北摂里山地域の魅力を発信

※(2)は、ひょうご里山・里海国際フォーラムと連携して実施

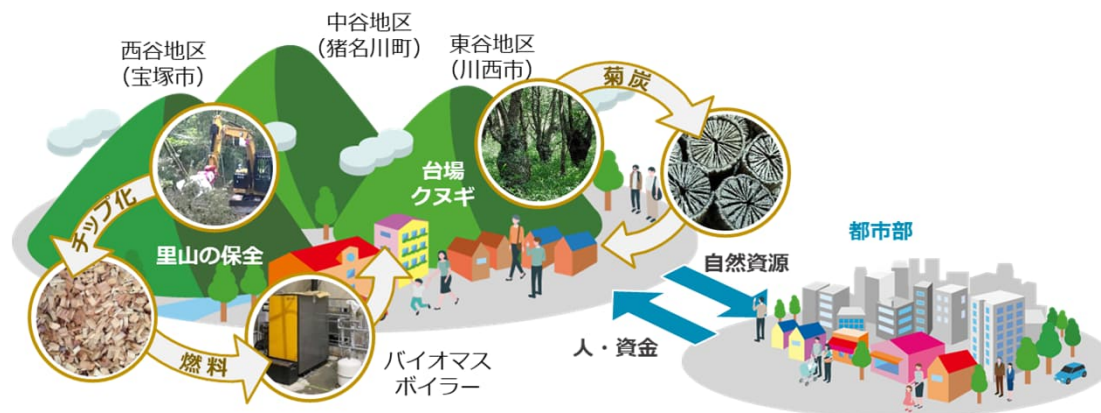


図1 北摂里山地域循環共生圏のイメージ

3. ロードマップ

項目	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)
実行委員会	開催	開催	
(1)里山の魅力発信		イベント	配布・情報発信
(2)次世代からの情報発信		企画	本開催
		企画	企画
		プレ開催	

1. 事業概要

広大なススキ草原と大空を翔るイヌワシ。上山高原のこうした貴重な自然を、これまでから県は 地域と協働の下、「上山高原エコミュージアム」として、PRに努めてきた。

フィールドパビリオンに認定されている「上山高原の再生について学ぶSDGsプログラム（滝トレッキング付）」を、芸術文化観光専門職大学と連携を図り、大学が持つ芸術、文化、観光の観点を取り入れブラッシュアップし、上山高原エコミュージアムの魅力を体験できるツアープログラムとして提供する。

2. R7年度実施内容

(1) 「遊びながら学ぶSDGs(仮称)」ツアー開催

- 開催日：季節ごとに数回開催予定
- 内容：滝トレッキング、高原ガイド、自然が育むお米や但馬牛などを地元食材を味わうなど、五感で楽しみながら、自然再生の取組みなどのSDGsを体験するプログラム
- インバウンド対応：参加外国人への配慮（サイン類の多言語化、通訳の同行、自動翻訳機配備）

(2) SNS（instagram等）を活用した情報発信

- ツアー開催案内（日本語/英語）
- 上山高原の魅力発信（季節による自然の移り変わり、自然再生活動の状況など）



シワガラの滝（新温泉町）



上山高原（新温泉町）

3. ロードマップ

項目	2023年度（R5）	2024年度（R6）	2025年度（R7）
① イベントのブラッシュアップ	既存イベントへの参加、問題点・改善点の提示、プランの作成		新規イベントの提供
② モデルツアー実施	10月	5月	10月
○ 展示更新・広報強化	展示手法検討、更新・広報の強化		ふるさと館及びイベントでの展示・利用
○ 検討会の実施	開催	開催	
③ 多言語化対応	開催	開催	多言語化対応

景観資源を活用した ひょうごフィールドパビリオンとの連携

まちづくり部

1. 事業概要 フィールドパビリオンに関連する観光地モデルコース、体験プログラム等が掲載されているコンテンツと、地域の景観資源を紹介するコンテンツをリンクすることで相互の付加価値を高め、フィールドパビリオンの展開を支援

2. R7年度実施内容

(1) 観光地モデルコース等とのリンク

- ・フィールドパビリオンに関連する観光地モデルコースやSDGs体験型地域プログラムが掲載されているコンテンツと、地域の景観資源を紹介するコンテンツをリンクする

例1 【ガイドツアー】：三木合戦の舞台「国指定史跡三木城跡及び付城跡群」を巡る（三木市）
+【景観資源】：三木城下町地区（景観形成重点区域）、旧湯の山街道（ビューポイント）



三木城下町地区

例2 【ガイドツアー】：戦国時代へタイムスリップ！雲を突く利神城と宿場町平福ガイドツアー（佐用町）
+【景観資源】：平福地区（景観形成重点区域）、平福の天神橋（ビューポイント）



平福地区

(2) 観光協会等と連携したPR

- ・観光地モデルコース等とリンクした地域の景観資源を市町の観光協会等と連携してPRする

例1 【まち歩き】：「北但大震災からの100年」をめぐる復興まち歩き（豊岡市）
+【景観資源】：豊岡震災復興遺産（景観遺産）



豊岡震災復興遺産

例2 【まち歩き】：江戸初期から続く町割りと港湾施設、古民家を利用した店舗
いつまでもつなぐ歴史と結びのまち高砂（高砂市）
+【景観資源】：高砂地区（景観形成地区）、工楽松右衛門旧宅前（ビューポイント）

3. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
(1) 景観資源と観光地モデルコース等とのリンク	景観資源選定・現地調査	観光地モデルコース等とのリンク	万博開催期間(4~10月)
(2) 観光協会等と連携したPR			観光協会等と連携したPR

1. 事業概要

校外学習や体験活動に活用可能なフィールドパビリオンのモデルコースを作成し、これまで県が取り組んできた兵庫型「体験教育」の意義や魅力とともにモデルコースを広く発信することにより、フィールドパビリオンの学校行事等での活用を促進することで、兵庫の子どもたちにさらなるふるさと意識の醸成をはかる。

2. R7年度実施内容

- (1) 県内の公立小学校・中学校の児童生徒がモデルコースを訪れ、兵庫五国のSDGsの取組を体験
- (2) 特色ある校外体験学習の実践事例を収集し、リーフレットの作成及び配布により県内公立学校へ共有

3. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
魅力発信検討会議 (モデルコース検討会議)		モデルコースの検討及び魅力発信	
実践事例等の収集		実践事例等の収集	
実践事例やモデルコース等の周知		周知	活用の実施

神戸のフィールドパビリオン魅力発信

神戸
県民センター

1. 事業概要

大阪・関西万博に向けて、兵庫・神戸の誘客促進を図るため、神戸市内の認定プログラムについて、様々な媒体を活用し、魅力をわかりやすく県民に発信するとともに、県民がプログラムを体験する動機付けを行い、神戸のフィールドパビリオンの魅力を発信する。

2. R7年度実施内容【3百万円】

(1)神戸のフィールドパビリオン特設サイトとそれに連動するガイドマップの継続【2百万円】

- ①R6年度事業の神戸のフィールドパビリオンに特化したウェブサイトの維持管理と追加プログラム等の更新
- ②追加のメディアを用いた発信
- ③ガイドマップ増刷

(2)フィールドパビリオン磨き上げ支援【0.8百万円】

- ①プレイヤーを対象に「フィールドパビリオン先進地視察ツアー」を行い魅力的なコンテンツ作りや誘客のノウハウを学ぶ。
- ②地域観光やインバウンドなどに精通したアドバイザー派遣により、プログラムの磨き上げを行う。

(3)フィールドパビリオン等周遊ルート検討会の設置・運営【0.1百万円】

県、神戸市、観光関係企業等をメンバーに、フィールドパビリオンや周辺観光施設を周遊するルート案を検討し、上記特設サイト等により周知を図る。



湊川隧道



舞子公園

3. ロードマップ

項目	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)	2026年度 (R8)
メディアを用いた発信	特設サイト開設・ガイドマップ発行 → 追加プログラムの更新・メディア発信・ガイドマップ増刷		
フィールドパビリオン磨き上げ		先進地視察ツアー・アドバイザー派遣	
周遊ルート検討会		検討会設置	

1. 事業概要

「大阪・関西万博」の開催を機に、「尼崎P&R駐車場」隣接地である尼崎フェニックス事業用地で開催される「ひょうご楽市楽座」において、神戸地域の魅力を国内外に広く発信することで、万博後も含めた誘客促進を図る。

2. R7年度実施内容【2百万円】

「ひょうご楽市楽座」での神戸の魅力発信

期間：2025年8月30日(土)・31日(日)、9月6日(土)・7日(日)、10月4日(土)・5日(日)

時間：午後4時～午後9時

場所：尼崎フェニックス事業用地（「尼崎万博P & R 駐車場」隣接地）

内容：観光コンテンツ・特産品PR、ステージイベント等

3. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
万博における神戸の魅力発信		企画・コンテンツ作成	イベント実施

次代につなぐ湊川隧道の保存・継承と魅力発信

1. 事業概要

大阪・関西万博を契機に、これまで継続してきた“地域の宝”である湊川隧道の保存とさらなる魅力発信を両立させる取り組みを継続・充実化し、次代へ引き継いでいく。(フィールドパビリオン認定プログラム)

2. R7年度実施内容【0.7百万円】

- (1)省力化した維持管理手法による修景（おもてなし）
隧道入口周辺緑化部の除草省力化につながる手法の導入（ムカデ芝の植栽）

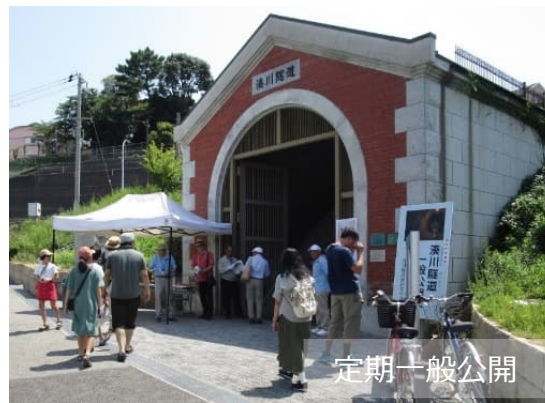
<参考> R6年度までの実施内容

国内外からの来訪者受け入れ準備完了。

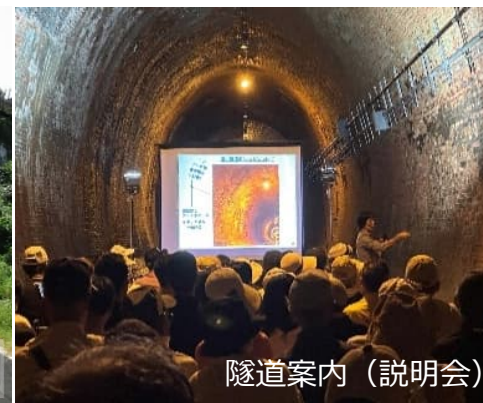
- (1)隧道内にWi-Fiを整備
緊急時の連絡手段確保や来訪者の利便性が向上
- (2)隧道案内の充実
定期一般公開日の追加
定期一般公開時にガイドによる来訪者への個別説明も可能



湊川隧道



定期一般公開



隧道案内（説明会）

3. ロードマップ

項目	2023年度（R5）	2024年度（R6）	2025年度（R7）
Wi-Fi整備	Wi-Fi整備	安全性や利便性が向上した見学会の実施	
ガイドの養成		ガイド養成講座、隧道案内の充実	
見学コンテンツの充実		定期一般公開拡大（第1・3土曜日）、（R6～）銘板文字判読・パネル作成・展示	
維持管理省力化による修景		維持管理省力化手法の導入検討、修景の実施	
			フィールドパビリオンの実施

「都市山・六甲山」魅力発信 ～自然とアートのコラボレーション～

神戸
県民センター

1. 事業概要

としま

市街地からのアクセスにも優れた「都市山・六甲山」のポテンシャルを生かしつつ、地域の各主体も関わる魅力作りに参画し、公民連携により「自然」と「観光」を掛け合わせた事業を展開する。また、2025年大阪・関西万博開催に向け、インバウンドをはじめとする各種誘客に対応するコンテンツ整備を行い、新たな六甲山全体の活性化を図る。

2. R7年度実施内容【5百万円】

(1)六甲山インバウンド等対応事業【1百万円】

県立六甲山ビジターセンターにおいて、インバウンド等に対応するためのコンテンツ整備等を実施する。

(2)神戸六甲ミーツ・アート beyondの作品展示、ガイドツアー事業【2百万円】

六甲摩耶観光推進協議会(*)と連携し、県立六甲山ビジターセンター会場への作品展示や展示会場をガイド付きで巡るツアーを複数回実施する。

(*)六甲山、摩耶山の観光事業の発展向上を計ることを目的として、山上施設及び関係行政機関等で構成する協議会。

(3)六甲山周年イベント事業【1百万円】

六甲摩耶観光推進協議会と連携し、県立六甲山ビジターセンターにおいて、各種イベントと併せて、キッチンカー出店等の賑わいづくりイベントを実施する。

(4)自然探索ツアー事業【0.9百万円】

県立六甲山ビジターセンター周辺において、環境活動団体と連携し、季節の花や生き物など六甲山の自然に触れあうツアーを実施する。



神戸六甲ミーツ・アート beyond展示作品のイメージ



キッチンカー出店



県立六甲山ビジターセンター

3. ロードマップ

項 目	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)
「都市山・六甲山」魅力発信事業	Mt.Rokkoロゲイングの開催		フィールドパビリオンの展開
	六甲山みどころツアー		六甲山インバウンド等対応事業
		神戸六甲ミーツ・アート beyond作品展示、ガイドツアーの実施	
		ビジターセンター賑わいづくり	六甲山周年イベントの実施
	自然探索ツアーの実施		

1. 事業概要

2025年大阪・関西万博にあわせ、六甲山・摩耶山の観光振興と山の保全の重要性並びに防災意識の向上を図るため、観光施設を組み合わせた歴史ある治山遺構の施設見学会を実施する。（「フィールドパビリオン SDGs 体験型地域プログラム 申請中」）

（観光施設：摩耶ケーブル・旧摩耶観光ホテル・摩耶ロープウェー・掬星台）

2. R7年度実施内容【3百万円】

(1) 現地案内ツアーの開催【1百万円】

林内歩道を歩きながら、S13年当時施工の治山工事遺構施設の解説を行い、崩壊地を緑豊かな森に再生してきた治山事業への理解と防災意識の向上を促し、未来へ継承していく。また、既存の「摩耶山観光案内ツアー」（旧摩耶観光ホテル）と公民連携し、摩耶山の魅力を付加して発信することにより、六甲山の観光振興にも役立てる。



治山遺構施設（S13災害復旧）

(2) ツアー資料の作成、歩道ルートの見直しや草刈・補修などの整備【2.1百万円】

- ① ツアー参加者向け・PRのため、リーフレット等作成や空中写真・動画撮影。
- ② よりよいツアーにするため、治山施設見学歩道ルートの追加延長や草刈等の維持管理



国登録有形文化財「旧摩耶観光ホテル」



昭和13年阪神大水害当時
摩耶観光ホテル下が大崩壊



現地案内時の様子

3. ロードマップ

項目	2024年度（R6）	2025年度（R7）	2026年度（R8）
摩耶山の治山遺構と 観光振興		現地案内ツアーの開催	
		ツアー資料（リーフレット等）の作成、歩道ルートの追加延長や草刈等の維持管理	
		フィールドパビリオンの実施	

1. 事業概要

近年世界的に再評価されている、阪神間モダニズムの文化風土を背景に芦屋で発祥した前衛美術グループ「具体」の魅力をはじめ、フィールドパビリオンに認定されている西宮の酒蔵や尼崎城など、阪神南エリアの個性豊かなコンテンツの魅力を発信することにより、認知度向上や万博来場客の地域への誘客を図るとともに、地域のブランド力向上に繋げる。

2. R7年度実施内容【8百万円】

(1)「具体」美術による地域ブランド力向上【4百万円】

- 「具体」魅力発信推進委員会の助言等を踏まえた各種魅力発信事業の実施
 - ・阪神間の美術館による「具体」連携展の開催
 - ・「具体」が活動した場所や足跡を紹介するプロモーションビデオの作成・発信
 - ・「具体」の魅力を体感できる体験ツアーの実施 等

(2)阪神間モダニズムの魅力を発信する広報活動【1百万円】

若年層をターゲットに、インスタグラマー等を活用した広報活動の実施

(3) 地域資源を活用した地域振興【3百万円】

日本酒等の地域資源を活用し、飲食業の活性化や交流人口の増加に繋げる取組を実施



100年続けるアート「平和の証」
(瓶投げアート公開制作)

3. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
具体魅力発信委員会	美術館の連携、マップ作成や関連イベントの企画・運営への助言		
具体による地域ブランド力の向上	・デジタル版マップ作成・追加・情報更新 ・まち歩きイベント開催		・美術館の「具体」連携展 ・体験ツアーの実施
機運醸成イベントの開催	万博プレイベントの開催等		万博イベントの開催

1. 事業概要

古くから水運に利用されてきた尼崎運河は、尼崎臨海部の貴重な財産であり、尼崎21世紀の森構想が掲げる「森と人と水が共生する」まちづくりを推進するため、地域や市民との協働により運河を核としたその魅力を発信する。

2. R7年度実施内容【5百万円】

(1) 尼崎運河魅力アップ事業【3百万円】

地域の魅力を発信するウォーキングラリーの開催、新たなクルーズルートの開拓、
尼崎運河の拠点整備・修繕

(2) 環境学習の新たな展開【2百万円】

企業・市民団体等との連携の場「企業版森の会議」の継続開催、
環境学習フォーラムの継続開催



尼崎運河魅力アップ（クルーズ）

3. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
魅力ある水辺空間の創出	尼崎運河クルーズ社会実験、 SUP拠点整備	尼崎運河クルーズの本格 実施、運河賑わいイベント による万博の機運醸成	尼崎運河クルーズの本格 実施、万博と連動した運河 賑わいイベントの展開
尼崎運河の拠点整備、環 境学習の推進	尼崎運河の諸元調査、環境学 習フェスティバル実施	尼崎運河の拠点整備・修繕及び環境学習の新たな展開	

1. 事業概要

令和7年度は、「アフター万博」を見据え、若者・Z世代（大学生等）による外からの視点を取り入れながら阪神北地域の魅力PR、認知度アップを図るとともに、万博後を見据え、阪神北地域のさらなる魅力アップや次年度以降の取組について検討を行う。

2. R7年度実施内容【4百万円】

(1) 学生による阪神北地域魅力発信事業【3百万円】

阪神北の地域づくりについて3つのテーマを設定し、県下の大学生等が阪神北地域に入り、「若者目線」で活動内容を提案してもらい、複数のFPプレーヤー等と連携して活動を展開。それらの活動について情報発信を実施。

【テーマ例】

里山、文化、食と農

【活動例】

- ①里山エリアの空き家を活用したコミュニティベースの運営（サポート拠点の設置・運営）
- ②ひょうごフィールドパビリオンのPR（冊子・動画制作等）
- ③ひょうごフィールドパビリオン博覧会（体験ワークショップ等）
- ④ひょうごフィールドパビリオンや地域の見どころを回るミニツアーの開催

(2) 阪神北地域の魅力アップ事業検討プロジェクトチームの運営【0.6百万円】

アフター万博の阪神北地域のさらなる魅力アップや、令和8年度以降の取組に関する意見交換を実施し、地域資源の活用について検討。



R6実績
(FPツアーチャシ)

R6実績
(第1回FPツアー)

3. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
(1) 学生による阪神北地域魅力発信事業			企画検討 事業実施 効果検証
(2) 阪神地域の魅力アップ事業検討プロジェクトチーム		企画検討 PT会議	PT会議（3回程度）

※ 東播磨県民局では、『いなみ野ため池ミュージアム』を2002年から展開しています。

1. 事業概要

いなみ野ため池ミュージアムでは、地域の財産であるため池や疏水を“守り、活かし、次世代へ継承する”ため、農業者だけでなく地域住民が参画するため池協議会が中心となり、公民学で連携し水辺の地域づくりを展開している。

大阪・関西万博に合わせ、東播磨を象徴する“ため池のある水辺空間”をフィールドパビリオンとして多くの来訪者が見て、学び、体験できる、ため池巡りロゲイニング大会など各種イベントを実施するための整備を公民学で連携して行う。

FPサイン（寺田池）



2. R7年度の実現内容【4百万円】

各ため池において、国内外からの来訪者にも対応した受け入れ

(1) モバイルコンテンツの整備 【3百万円】

デジタルサインを利用したモバイルコンテンツ「ため池GO!」の運用に向けたシステム整備

モバイルコンテンツの普及拡大に向けたデジタルスタンプラリーの開催

(2) フィールドパビリオン体験プログラム 【1百万円】

水辺空間を利用した食とのコラボレーションイベントの開催

モバイルコンテンツ「ため池GO!」



3. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
多言語対応デジタルサインの整備		情報収集・デジタルサイン整備	
フィールドパビリオンサインの設置	サインの検討	FPサインの作成・設置	
		ロゲイニング大会	ロゲイニング大会 (参加型イベント)など開催
			モバイルコンテンツ運用 (デジタルサイン活用)

1. 事業概要

北播磨地域のフィールドパビリオンを多くの方に知ってもらうとともに、管内の複数市町を周遊してもらえよう、誘客や魅力発信等に取り組む。

2. R7年度実施内容【9百万円】

(1) フィールドパビリオン魅力体験ツアーの実施【1百万円】

大阪又は三宮発着で、管内の複数市町の認定プログラムを体験し、令和6年度に作成した「北播磨飲食店ガイド」掲載店で昼食をとるツアーを一般客対象に実施する。また、参加者アンケートを行い、集計・分析結果をプレーヤー等に共有し、今後の集客等につなげる。

(2) 地域内外への広報・情報発信【4百万円】

ア Instagram及びインフルエンサーを活用したフィールドパビリオンの魅力発信

(ア) ハッシュタグ機能を活用した魅力発信キャンペーンの実施

北播磨のフィールドパビリオンを訪れた人にキャンペーンのハッシュタグをつけて投稿してもらい、抽選で、北播磨の特産品を商品として贈呈する。

(イ) インフルエンサーを活用した発信

影響力のあるインフルエンサーがフィールドパビリオンを訪れ、行ってみたいと思えるような写真や動画を投稿やストーリーで発信してもらう。また、投稿欄やストーリーでのタイアップ広告の配信も行う。

(ウ) 情報発信の効果測定

投稿やストーリーの閲覧数及び閲覧者情報を集計し、プレーヤーに共有することで、プログラム内容の発展に繋げる。

イ 一般及び観光客への広報

幅広い年代の人々や地域、都市部への観光客に対して、北播磨地域のフィールドパビリオンをPRするため、地域版及び全県版の新聞記事への掲載のほか、誘客ポスターを作成し、JR三宮駅及びJR加古川駅への掲示し広くPRを行う。

(3) 賑わいづくり支援【4百万円】

地域団体等が取り組むイベント開催、情報発信等に対する支援



山田錦田植え体験

3. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
フィールドパビリオンの魅力向上		利用促進ツアーの実施	魅力体験ツアーの実施
住民への周知・参画		関係者意見交換会の開催	Instagram及びインフルエンサーを活用した情報発信・効果測定
賑わいづくり支援	募集→事業実施	FP特設ページの開設、北播磨グルメジャーニー（飲食店ガイド）作成・PR	募集→事業実施

1. 事業概要

東条川疏水は鴨川ダムと昭和池を水源とし、加東市から小野市、三木市にわたる約3千ヘクタールの農地に張り巡らされた広大な水路網で、古くから地域の農業や生活を支えてきた現役の地域遺産である。東条川疏水ネットワーク博物館は、東条川疏水が育む地域全体を博物館に見立て、疏水の歴史や果たしている役割を次世代に継承していくことを目指しており、北播磨県民局が中心となって加東市、小野市、兵庫県東播磨土地改良区をはじめ、博物館活動に賛同する地域の団体と協働して疏水をテーマに様々な活動を進めている。

大阪・関西万博は人を呼び込む絶好の機会であることから、これを東条川疏水に関連する活動を持続的に発展させる好機と捉え、東条川疏水でつながる農や食を含めた体験型プログラムを実施する。

2. R7年度実施内容【11百万円】

(1) フィールドパビリオン体験型プログラムの展開【5百万円】

地域内外の人に東条川疏水を知ってもらうため、東条川疏水ネットワーク博物館会議が中心となって①鴨川ダム歴史探訪ツアー、②疏水めぐりウォーキング・サイクリング、③バスツアーなどの体験型プログラムを実施する。

またR8以降の継続実施に向けて、実施後の検証、改善提案を行う。このほか、来訪者向け案内板等の設置やプログラム宣伝素材を製作する。

(2) 疏水学習への支援【5百万円】

疏水施設見学に必要なバス借上げや疏水学習の教材開発を行い、地域内の小学校が取り組む疏水学習（教室内授業、施設見学）を支援する。

(3) 地域団体等への活動支援【0.5百万円】

疏水に関する様々な活動を展開する地域団体等の活動を支援



鴨川ダム歴史探訪ツアー

3. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
体験型プログラムの実施	体験型プログラムの磨き上げ	体験型プログラムのプレ実施、改善	体験型プログラムの本格実施
疏水学習への支援	疏水施設見学バス借上げ、疏水学習の教材開発		
地域団体等活動支援	活動費助成		

1. 事業概要

- ・近年は、栄養塩不足など漁場環境の悪化により、漁獲量が減少し、漁業者の高齢化と後継者不足が深刻化するとともに、来訪者の減少が進み、水産業及び漁村地域の衰退が懸念
- ・大阪・関西万博のフィールドパビリオンとしての取組を視野に魅力を発信し、地域のファンづくりを推進

2. R7年度実施内容【3百万円】

- (1)実施主体：漁業協同組合、漁業者グループ
- (2)内 容：
 - ①漁業見学船等による観光ツアー【2百万円】
 - ・海上での漁船操業状況の見学
 - ・家島諸島クルージング
 - ・坊勢島等における散策、食事体験等
 - ②直販施設等における地元水産物のPR【0.5百万円】
 - ・姫路市内の漁協直販施設における情報発信等



(3)対象者：一般



漁業見学船



小型底びき網漁業見学



製氷施設見学

3. ロードマップ

項 目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
①漁業見学船等による観光ツアー		体験ツアー等の試行(新たな取組の研究、実施手法の確立)	FPとして本格実施
②地元水産物のPR		上記期間におけるバックアップ実施等	

「水」と「緑」と「古」に出会う西播磨ツーリズムの推進

1. 事業概要

西播磨地域の美しい「水」や「緑」にまつわる観光資源、この地に根ざした「古（いにしえ）」の歴史資源や伝統文化を積極的に情報発信するとともに、交流人口の拡大・万博に向けた誘客促進など、戦略的なツーリズムを推進。

2. R7年度実施内容【14百万円】

(1) 西播磨「水のさと」水系自慢プロジェクト【0.8百万円】

「水」にまつわる観光資源の知名度向上と誘客促進を図るため、千種川、揖保川、瀬戸内海岸をはじめとする、「水」にまつわるストーリー・写真・映像を部門ごとに募集する水系自慢コンテストを開催し、それらの素材を活用した観光PR動画を作成。

(2) 西播磨を巡るデジタルスタンプラリー【3百万円】

「ひょうごフィールドパビリオン」として認定されたスポット、「水」にまつわるスポット、山城、レトロな街並、道の駅など西播磨地域の魅力的な観光スポットを巡るデジタルスタンプラリーを実施。

(3) 「観光カード」による観光プロモーション【2百万円】

管内の写真映えする観光スポットのPR・知名度向上を図るため、インバウンド等をターゲットに、多言語対応可能な観光カードを作成し、イベント等で配布。

(4) 西播磨の山城魅力情報発信事業【8百万円】 ※地域創生枠

- ①山城ガイドによる大規模イベントでの魅力発信
- ②ホームページ「西播磨遊記」山城サイトの英訳
- ③ARアプリ「西播磨の山城へGO」の充実・強化
- ④山城ガイドの後進育成
- ⑤山城とひょうごフィールドパビリオンへの来訪者促進（デジタルスタンプラリー）



【赤西溪谷（宍粟市）】



【利神城（佐用町）】

3. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
「水」と「緑」と「古」に出会う西播磨ツーリズムの推進	デジタルスタンプラリー 観光カード 水系自慢	デジタルスタンプラリー 観光カード 水系自慢	デジタルスタンプラリー 観光カード 水系自慢 西播磨の山城

1. 事業概要

「大阪・関西万博」の開催を機に、「尼崎P&R駐車場」隣接地である尼崎フェニックス事業用地で開催される「ひょうご楽市楽座」において、FPを含めた西播磨の各市町の魅力を国内外に広く発信することで、万博後も含めた誘客促進を図る。

2. R7年度実施内容【1百万円】

「ひょうご楽市楽座」での西播磨観光プロモーション

期間：2025年8月16日(土)・17日(日)、23日(土)、24日(日)

時間：午後4時～午後9時

場所：尼崎フェニックス事業用地（「尼崎万博P & R 駐車場」隣接地）

内容：観光コンテンツ・特産品PR、観光PR動画放映等



【2024水系自慢コンテスト最優秀賞】

3. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
万博における西播磨観光プロモーションの展開		<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 20px; background-color: #0070C0;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 20px; background-color: #0070C0;"></div> </div> <p>企画・コンテンツ作成 プロモーション</p>	<div style="border: 1px solid black; width: 50px; height: 20px; background-color: #0070C0;"></div> <p>プロモーション</p>

1. 事業概要

大阪・関西万博の期間中及び開催後も但馬への誘客を促進するため、但馬のフィールドパビリオンへの誘客の取組を推進する。また、異業種が集うフィールドパビリオンによる「つながりの場」を設け、フィールドパビリオンが自立して持続的に発展していくことができるよう支援していく。

2. R7年度実施内容【4百万円】

(1)誘客促進のための仕掛けづくり【3百万円】

①ファムトリップの実施

芸術文化観光専門職大学生らが造成したフィールドパビリオンモデルコースをメディアに体験してもらうツアーを実施し、但馬地域への誘客を促進する。

②デジタルスタンプラリーの実施

但馬のフィールドパビリオン等の周遊を促すデジタルスタンプラリーを実施し、各フィールドパビリオンの魅力を体感してもらう。

③フィールドパビリオン情報発信イベントの実施

但馬地域で行われる観光イベントに出展し、フィールドパビリオンによる体験提供・情報発信を行う。

(2)フィールドパビリオンつながりミーティングの開催【1百万円】

異業種のフィールドパビリオンが互いに連携し、高め合い、自立自走していけるようにするための場づくりを行い、持続的発展に向けた交流を促進する。



▲プレミアムプログラム「湯がき体験」

3. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
ファムトリップの実施		モデルコース造成	実施 → メディアからの情報発信
デジタルスタンプラリーの実施			協力団体募集 → 実施
情報発信イベントの実施		イベント出展	イベント出展
つながりミーティングの開催			研修、ワークショップ、意見交換

1. 事業概要

旅行者のニーズに応じた着地型観光を地域が自主的に創りあげる支援を行いつつ、但馬の多彩なフィールドパビリオンを含む観光コンテンツの魅力向上を図り、より長く何度でも訪れたい但馬の観光を推進する。

2. R7年度実施内容【7百万円】

(1) 多彩な観光資源の魅力発信

① 地域資源・コンテンツ品質向上支援【3百万円】

地域資源を活かした着地型体験コンテンツなどの造成を促し、新しいツーリズムの構築を推進する。

② 二次交通の充実・利用促進に向けた支援【1百万円】

新たな二次交通手段に対する支援を実施することで、地域内の周遊性の向上を推進する。

(2) 但馬のツーリズム情報の積極的発信

① 広域的な観光情報の発信【1百万円】

大阪・関西万博に向け、インバウンド誘客等を意識した広域的な観光情報発信を通年で実施する。

② インバウンド誘客対策事業【2百万円】

大阪・関西万博等を見据え、インバウンド向け商談会への出展等によりインバウンド誘客を図る。



▲インフルエンサーによる情報発信

3. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
(1) 観光資源の魅力発信		体験型コンテンツの造成	
① 品質向上支援			
② 二次交通充実支援		観光地間の交通事情向上	一部民間主体で事業化
(2) ツーリズム情報発信		市町と連携した継続的な情報発信	
① 広域的な観光情報発信			
② インバウンド誘客対策		インバウンド向け商談会への出展	

1. 事業概要

大阪・関西万博を機に、国内外からの観光客が増えることが期待され、山陰海岸ジオパークエリアでもジオカヌーなど、ジオパークに関連したフィールドパビリオンも認定されている。それら認定されているフィールドパビリオンや、大地の成り立ちなどを感じられるジオサイトを訪れる観光客等の受入環境を充実させ、山陰海岸ジオパークの魅力を国内外に発信する。

2. R7年度実施内容【1百万円】

(1)PR看板等の設置支援

見どころ等にジオパークをPRする看板等を設置し、魅力を発信するとともに、ジオパークをより身近に感じてもらい、ジオパークを通じた交流人口の拡大を目指す。



▲ジオカヌー



▲玄武洞公園

○次の事業に対して補助を実施する。

- ・山陰海岸ジオパークのエリアに入る箇所に歓迎の意を表す看板の製作及び既存看板の刷新等に要する経費
- ・山陰海岸ジオパークの見どころを紹介するために製作される、看板の製作及び既存看板の刷新等に要する経費
- ・その他、受け入れ態勢の向上につながる認め経費

3. ロードマップ

項目	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)
看板の設置 見どころの紹介		看板設置	
		魅力発信	

1. 事業概要

2025年に開催される「大阪・関西万博」に向けて、丹波地域におけるフィールドパビリオン資源を国内外に効果的に発信するとともに、万博開催後も資源を活かした取組を持続的なものにしていくことを目的として、フィールドパビリオン関係者で課題や情報を共有するセミナーや実証的モニターツアーを実施する。

2. R7年度実施内容【1百万円】

丹波地域のFPコンテンツの連携強化を目的に、セミナーの実施やFPの組み合わせにより創出された体験プログラムの実証的モニターツアーを実施し、成果・課題の共有、意見交換を行う。

(1) F Pコンテンツ連携創出セミナーの実施【0.2百万円】

(2)モニターツアー（現地研修）の実施【1百万円】



3. ロードマップ

項目	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)
サポート人材の発掘	人材発掘開始 → 順次、FPコンテンツ提供者の支援		
連携創出セミナーの実施	連携創出セミナーの実施		
モニターツアーの実施	モニターツアーの実施		

丹波の里山づくり促進事業（体験プログラム実施 団体へのアドバイザー派遣）

丹波県民局

1. 事業概要

丹波地域の里山を体験フィールドとしてフィールドパビリオンを展開する里山活動団体に対しアドバイザーを派遣し、体験プログラムのほか安全性や収益性を加味した持続的活動を支援する。

2. R7年度実施内容【0.3百万円】

(1) 里山活動団体による体験プログラム策定・実施への支援

「美しい里山」を次の世代に繋いでいくため、豊かな伝統文化や地域資源を活かした里山体験プログラムの実施や安全性・収益性確保を希望する団体にアドバイザーを派遣する。

○アドバイザー

氏名	所属
維田 浩之	森林インストラクター 丹波篠山市森づくり支援員
内田 圭介	八百材舎木材コーディネーター 丹波の森研究所研究員
宮川 五十雄	NPO森の都研究所代表 丹波の森研究所研究員
門上 幸子	森林インストラクター 丹波の森研究所研究員
門上 保雄	森林インストラクター 丹波の森研究所主任研究員
山崎 春人	森林インストラクター 関西学院大学講師



3. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
アドバイザー派遣	アドバイザー派遣		必要に応じて実施

2 万博会場「兵庫県ゾーン」・ ひょうご EXPO TERMINALにおける魅力発信

2 万博会場「兵庫県ゾーン」・ ひょうごEXPO TERMINALにおける魅力発信

【R7事業費：447百万円】

(うちハード42百万円)



・万博会場の関西パビリオン「兵庫県ゾーン」と県内拠点であるひょうごEXPO TERMINAL（県立美術館ギャラリー）において、兵庫発のSDGsが体験できる**フィールドパビリオンをはじめとした多彩な魅力を展示を通じて発信**。

万博会場「兵庫県ゾーン」

(関西パビリオン内、面積：約160㎡)

展示コンセプト

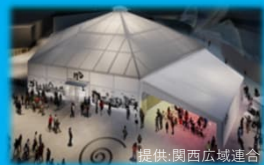
時空を超えた旅で兵庫県の魅力を
体感するアトラクション型映像空間

HYOGO ミライバス

-体験型のSDGs空間-



- ▶ 座席に座って楽しめるシアター空間
- ▶ トークセッションをはじめとしたイベントが展開可能



目標来場者数

100万人

兵庫県ゾーン 40万人
兵庫県立美術館 60万人



©Nobutada Omote_0NP8457

4/6先行オープン!



- ▶ 来場者参加型・体験型の展示空間
- ▶ 子どもが主体となって発信・共創する展示

ひょうごEXPO TERMINAL

(兵庫県立美術館ギャラリー棟3階ギャラリー、
面積：約620㎡)

展示コンセプト

参加型の展示体験で、ワクワクしながら
兵庫の魅力を発見し体感できる空間

&future HYOGO

-持続可能な未来のヒント-

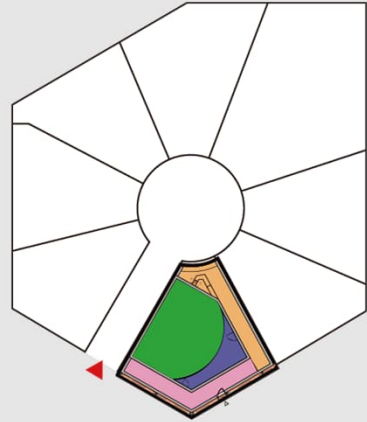
【ロードマップ】

項目	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)
①展示設計・制作	展示設計	展示制作 現場工事	解体撤去
②会場運営等		運営マニュアル作成・スタッフ研修等	運営

2 万博会場「兵庫県ゾーン」・ひょうごEXPO TERMINALにおける魅力発信



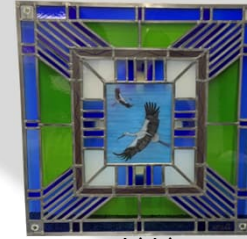
万博会場「兵庫県ゾーン」



メインホール入場前の待合空間
「こころの回廊」

- ▶ 子どもたちが制作したコウノリの折り紙を天井面いっぱいに装飾した空間で来場者をお出迎え
- ▶ 展示専用スペースを活用し、市町をはじめとした様々な主体が万博会場で魅力や取組みを発信
- ▶ ひょうごEXPO TERMINALとリアルタイムでつながるドア型のモニターを設置

- ▶ フィールドパビリオンの活動等を色鮮やかなステンドグラスアートで表現した空間。光に照らされたアート作品が来場者に降り注ぐ、幻想的なアート・コリドーを演出
- ▶ 作品はコウノリや丹波焼などのひょうごを象徴するモチーフを中心にデザインを行い、県内の芸術活動家が制作に携わる県民参加型展示



▲ステンドグラスのデザイン



ステンドグラスの回廊



- ▶ シアター空間「HYOGOミライバス」で、ひょうごの過去から未来を巡る約10分間の動画放映（座席数：54席）。「兵庫は続ける、乗り越える」をテーマに、フィールドパビリオンをはじめとした兵庫の様々な表情や魅力、その背景を巡る旅を演出
- ▶ ひょうご EXPO 41やひょうご EXPO weekなどに位置付けられたイベント等もメインホールで開催予定（伝統文化・観光PR動画の放映、1970年大阪万博に関連するイベントなどを想定）
- ▶ ミライバスの映像やステンドグラスをはじめとした万博展示物をガッツとして後世に引き継ぐことを検討



※画像はすべてイメージ

2 万博会場「兵庫県ゾーン」・ひょうごEXPO TERMINALにおける魅力発信



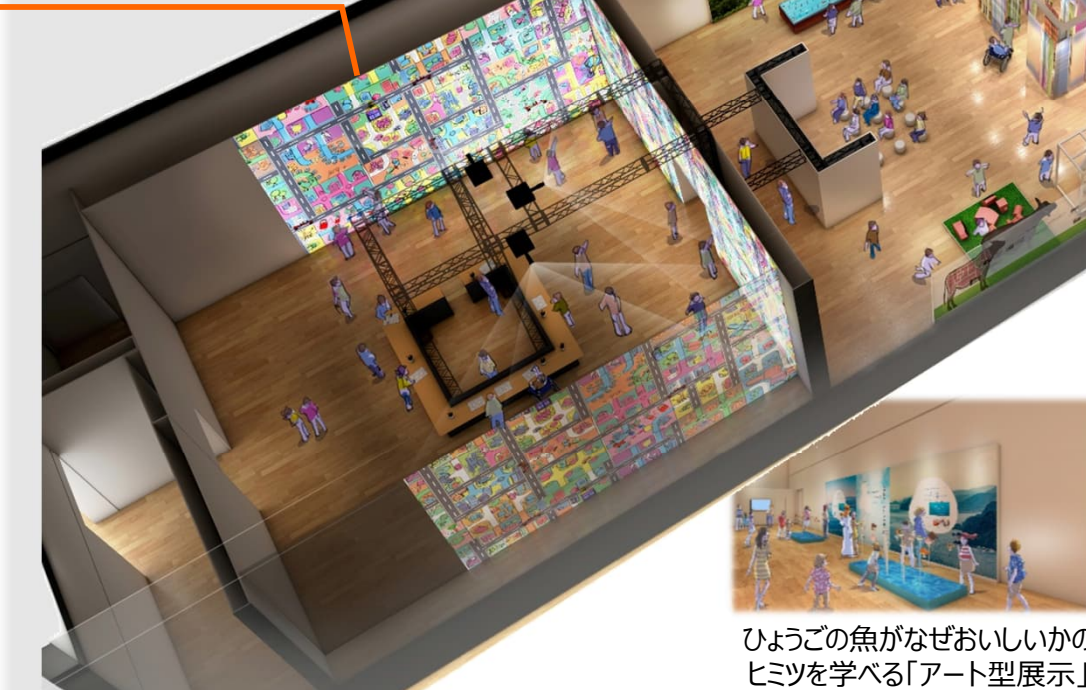
ひょうごEXPO TERMINAL (兵庫県立美術館)

➤ 「ミライのひょうごのまち」をテーマに子どもたちから集めた絵画作品をデジタルアート化し展示。(実物絵画はギャラリー外側の回廊壁面に展示)



➤ 来場者用の缶缶作成スペースを設置し、その場で描いた缶缶が映像に入り込む仕掛けも用意

ミライのひょうごゾーン



万博開幕1週間前となる4/6(日)にオープン!!
(4/5(土)にオープニングセレモニー・内覧会等を実施予定)

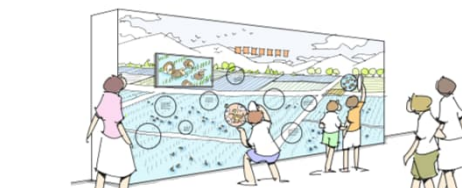
ドア型モニター
➤ 万博会場「兵庫県ゾーン」とリアルタイムでつながるドア型のモニターを設置

フィールドパビリオンゾーン



日本で唯一、純血の血統を守り続けている「但馬牛の組立パズル&枝肉マッピング」

約千年の間続いてきた丹波焼の秘密や作る工程が学べる「丹波焼すごろく」



人と環境にやさしい環境創造型農業の特徴が学べる「体験型展示」



世界的トップブランドにも支持される「播州織のトンネルアート」



ひょうごの魚がなぜおいしいかのヒミツを学べる「アート型展示」

➤ フィールドパビリオンの体験メニューをバズル等で展示し、子どもから大人まで楽しみながら学べるゾーン

➤ ワークショップをはじめとした各種イベント・催事等が実施可能なエリアも設置 (土日祝・夏休み限定) **34**

3 ひょうご EXPO weekの展開



3 「ひょうご EXPO week」による魅力発信

【R7事業費：5百万円】



- ・国際博覧会協会が実施する「**テーマウィーク**」に連動して、公式8テーマに“**兵庫ならではの**”の独自2分野を追加した計10テーマにより「**県版テーマウィーク**」として展開。
- ・各テーマに沿った県内各地の取組を「**シンクロイベント**」として募集。県が認定し、広くPRを実施。
- ・シンクロイベントの開催や各イベントへの参加を通じて、「**県民が参加できる万博**」をめざす。

①「ひょうご EXPO week」概要



テーマ

① 未来への文化共創 (4/25(金)～5/6(火))	② 未来のコミュニティと多様性 (5/15(木)～5/26(月))	③ 食と暮らしの未来 (6/5(木)～6/16(月))	④ 健康とウェルビーイング (6/20(金)～7/1(火))	⑤ 学びと遊び (7/17(木)～7/28(月))
⑥ 平和と人権 (8/1(金)～8/12(火))	⑦ ひょうごの成長産業と地場産業 【県独自】 (8/30(土)～9/8(月))	⑧ 災害からの創造的復興 【県独自】 (9/15(月)～9/21(日))	⑨ 地球の未来と生物多様性 (9/17(水)～9/28(日))	⑩ SDGs+ Beyond いのち輝く未来社会 (10/2(木)～10/12(日))

募集内容

※令和6年4月より募集開始、万博開催期間中も随時受付（詳細は県HPの応募用ページを参照）

- 対象：県、市町、県内で活動する団体、大学等
- イベント：県内各地で開催する「テーマ」に合致するイベント（原則、テーマ期間内で開催するもの）
- メリット：認定されたイベントを**県が一体的に周知・広報**（「②プロモーション」参照）



[応募用ページ]

②プロモーション

- ・県専用WEBサイト「イベントカレンダー」へ掲載するとともに、「7 ①万博施策の一体的プロモーション」の中で各種媒体を活用した広報を実施
- ・ラジオ番組を活用したプロモーションを展開 等

ラジオとのコラボ企画

各テーマの内容に関するリスナー投稿を募集し、番組の中でパーソナリティと議論

万博のテーマを構成する各weekのテーマを、自分ごととして考えてもらう機会とし、万博の意義やSDGs達成に向けた意識を高める。

ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
①事業推進	企画検討	本開催に向けた準備 募集(4月～)、参画促進(実施主体向け)	本開催
②参画促進・情報発信			広報(一般向け)

3 「ひょうご EXPO week」による魅力発信



【参考】各テーマと主なシンクロイベント（イメージ）

※下記掲載のイベントは、現時点で実施予定のもの（今後、変更可能性あり）

2025年4月

5月

6月

7月

① 未来への文化共創

4/25(金)-5/6(火)

多様な文化が共鳴し、未来への文化が共創されるために、私たちは何をすべきか？

例：伝統芸能、歴史遺産、地域活性化、観光、アート、音楽、スポーツ、文化芸術、マンガ・アニメ、eスポーツなど



ひょうご国
～HYOGO産を世界に発信するプロジェクト2025～

② 未来のコミュニティ

5/15(木)-5/26(月)

誰もがその人らしく生きられるコミュニティとは？

例：スマートシティ、デジタル田園都市、防災・復興、メタバース、宇宙、ロボット、EV・FCV、自動運転、空飛ぶクルマ、サイバーセキュリティ、MaaSなど



淡路夢舞台地区における
自動運転による来訪者
移動支援

③ 食と暮らしの未来

6/5(木)-6/16(月)

全ての人々が食と暮らしに困ることがない未来はどのようにすれば実現できるのか？

例：フードロス、フードテック、食育、食文化、スマート農林水産業、サステナブルファッション、エシカル消費など



コウノトリと、トキと、食・地域の未来と。
～兵庫県・豊岡市×新潟県・佐渡市
環境創造型農業サミット～

④ 健康とウェルビーイング

6/20(金)-7/1(火)

一人ひとりのウェルビーイングが共鳴する社会をどう実現するか？

例：感染症対策、ウェルビーイング、ゲノム医療、再生・細胞医療・遺伝子治療、PHR、健康寿命、SBNR、安全な水とトイレなど



well-噛む(welcome)
EXPO'25

⑤ 学びと遊び

7/17(木)-7/28(月)

AI時代において人は何を学ばば良いのか？

例：生涯学習、EDTEC、知財活用、個別最適化学習、遠隔教育、若者自立、教育格差、STEAM、アントレプレナーシップ、世界の遊びなど



夏休みものづくり体験講座
(県立ものづくり大学校)

8月

9月

10月

⑥ 平和と人権

8/1(金)-8/12(火)

あらゆる差別をなくし、互いを尊重し合う社会を実現するために、世界は何をすべきか？

例：飢餓、貧困、格差社会、人権侵害、児童労働・強制労働、障がい者参加、ジェンダー平等、LGBTQ、女性の活躍推進、多様性と包摂性など



ひょうご・ヒューマン
フェスティバル

⑦ ひょうごの成長産業と地場産業 [県独自]

8/30(土)-9/8(月)

兵庫経済をけん引する次世代成長産業、地場産業等を持続的に発展させるために、世界は何をすべきか？

例：水素等新エネルギー、航空、ドローン、空飛ぶクルマ、ロボット、半導体、健康医療産業、産学官連携、O2O技術、地場産業、伝統的工芸品、ブランド化、海外展開 など



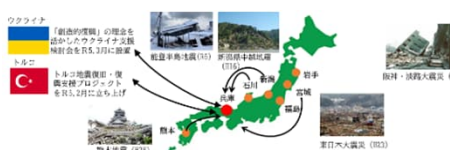
国際フロンティア
産業メッセ2025

⑧ 災害からの創造的復興 [県独自]

9/15(月)-9/21(日)

将来の災害に備えと共に、災害前よりもより良い社会へと復興するにはどうすべきか？

例：創造的復興、Build Back Better、防災・減災、レジリエンス など



創造的復興サミット

⑨ 地球の未来と生物多様性

9/17(水)-9/28(日)

豊かで多様ないのちが住む地球を未来に残すために、私たちは何をすべきか？

例：気候変動、脱炭素、生物多様性、サーキュラーエコノミー、再生可能エネルギー、水素社会、ネイチャーポジティブ、森林破壊、海洋汚染、里山再生、淡水資源など



ひょうご里山・里海
国際フォーラム

⑩ SDGs+ Beyond いのち輝く未来社会

10/2(木)-10/12(日)

SDGsは達成できるか？そして、その先はどうする？

例：SDGs、ポストSDGs、いのち、未来社会



ひょうごSDGs
フォーラム (仮称)

1. 事業概要

博物館の非日常空間を活かし、兵庫五国の魅力を発信するイベント等を開催するとともに、次代を担う若者、ファミリー層や観光客など、さらなる誘客を促進

2. R7年度実施内容【7百万円（内数）】

(1) 兵庫の歴史・文化・産業に根ざした体験イベント等の実施

- ① 博物館の非日常空間を活かしたイベントの開催
- ② 万博コンテンツ・日本遺産等の体験イベント
- ③ SNS等を活用した五国の魅力発信プロモーション

(2) 国内外からの誘客促進

- ① 学校教育旅行用のオーダーメイド型見学プログラムの開発
- ② 兵庫津周遊プログラムの開発
- ③ 広域的な観光コンテンツ（例：朝鮮通信使等）の活用
- ④ SNS等を活用した海外向け情報発信

3. ロードマップ

項目	2023年度（R5）	2024年度（R6）	2025年度（R7）
体験イベント等	企画・調整	実施	
国内外からの誘客促進	企画・調整	プログラム開発・実施	



（イベント事例：兵庫津で踊る！）



（兵庫津ミュージアム外観）

1. 事業目的

全国最多9つを有する日本遺産をはじめ、世界遺産・姫路城、世界遺産を目指す鳴門海峡の渦潮など県内の多彩な地域遺産について、環境保全、文化・伝統の継承、普及啓発・教育の取組など、SDGsの観点から、国内外への情報発信、兵庫への誘客を促進

2. R7年度実施内容【5百万円】

(1) 日本遺産シンポジウムの開催

大阪・関西万博の関連イベントとして、兵庫津ミュージアムを発信拠点として、県内の各日本遺産が一体となった情報発信を行うことで、日本遺産全体としての認知度向上を図り、県内外からの誘客も促進するため、シンポジウムを開催する。

〔時期〕 令和7年7月（予定）

〔場所〕 兵庫津ミュージアム「ひょうごはじまり館」

〔内容〕 基調講演、各地域の取組報告等

パネルディスカッション（3～5団体程度で）、各日本遺産の展示

(2) 歴史ツーリズムの展開（県立兵庫津ミュージアムと連携）

〔コンテンツ例〕

- ① 国生み神話の伝承と金属器文化・海人の航海技術等との関わり（淡路）
- ② 近代日本の産業発展を支えた銀の馬車道・鉱石の道の歴史・鍛冶技術（中播磨・但馬）
- ③ 北前船による近代国内航路形成の歴史や松右衛門帆などの技術（各地域）
- ④ 姫路城、播磨の山城を通じた中世・近世期の築城技術・地域の発展（各地域）
- ⑤ 灘・伊丹の酒、六古窯、赤穂塩など、伝統・地場産業の足跡・技術（各地域）
- ⑥ デカンショ節、阿万の風流踊など、多様な祭礼・伝統芸能の継承（各地域）
- ⑦ 山陰海岸ジオパーク（但馬）

(3) その他関連イベント

「鳴門海峡の渦潮」世界遺産登録推進国際シンポジウム関連イベント 等



（丹波篠山 デカンショ節）



（山陰海岸ジオパーク 玄武洞）

3. ロードマップ

項目	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)
日本遺産シンポジウム		企画・調整	実施
歴史ツーリズムの展開		企画・調整	実施

1. 事業概要

いのち輝く未来社会をテーマに開催される大阪・関西万博にあわせて、SDGsの更なる浸透と機運醸成を図るべく、県内企業や団体、県民など、あらゆるステークホルダーを対象としたフォーラムを開催する。

2. R7年度実施内容【2百万円】

基調講演や事例発表等を通じて、SDGsやポストSDGs、持続可能な社会について考えるフォーラムを開催。

- (1) 開催時期：令和7年10月上旬
- (2) 対象：企業、団体、県民、自治体職員 等
- (3) 内容：①基調講演
②県内企業・団体等による事例発表
③意見交換



3. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
啓発イベントの開催	企画検討 啓発イベント開催	企画検討 啓発イベント開催	企画検討 フォーラム開催

1. 事業概要

大阪・関西万博とあわせて、兵庫県の誇る芸術文化の国内外への発信を強化することで、より多くの人々に県の魅力に触れてもらう機会を創出する。

2. R7年度実施内容【17百万円】

(1) ひょうごプレミアム芸術デーの開催【9百万円】

県内の美術館・博物館などの芸術文化施設を無料開放等することで、県民だけでなく、兵庫県を訪れる国内外の人に向けても、広く芸術文化に触れる機会を創出する。

また、子供連れの方や障害がある方を優先的に案内する「ハートフルファストトラック」や、「一時保育」、「手話通訳付き解説会」など誰もが芸術文化に親しむための取組を実施する。

(2) インスタグラム「兵庫アートポータル」等による情報発信強化【3百万円】

インスタグラム「兵庫アートポータル」により本県の多彩な芸術文化の魅力を発信するとともに、県立芸術文化施設等のHPを英語、中国語、韓国語で発信する。

(3) 丹波焼の郷と一体となった陶芸美術館魅力発信【5百万円】

丹波焼の郷の情報を一元発信する特設Webサイトやオーディオガイドを地域と一体となり整備し、インバウンド来訪者等も含めた新たな層にフィールドパビリオンをはじめとした丹波焼の郷の魅力を発信するとともにバス運行などによりアクセスの向上を図り、来訪・周遊を促進する。

また、SNSのターゲティング広告などにより、陶芸美術館への来館を促進する。



【一時保育／手話通訳付き解説会】
ひょうごプレミアム芸術デー



【「日本六古窯」丹波焼の里を訪ねる】

項目	2023(R5)年度	2024(R6)年度	2025(R7)年度
(1) ひょうごプレミアム芸術デー	無料開放施設の拡大、特別イベントの充実、障がい者、子ども連れ等誰もが気軽に芸術に触れる機会の拡充		万博シンクロイベントとして展開
(2) インスタグラム「兵庫アートポータル」等による情報発信強化	インスタ開設、HP多言語化	コンテンツの追加・拡充、フィールドパビリオンとの連携	
(3) 丹波焼の里 魅力発信		地域との連携、広報の充実、ガイド養成	魅力発信・フィールドパビリオンの推進

1. 事業概要

ひょうご EXPO week「平和と人権」ウィーク（8月）にあわせて開催。講演、ステージ、展示、体験など様々な催しによる学びや気づきを通して、県民が「人権」を身近に感じ、大切なものとして日常生活の中で人権尊重の実践につなげていくよう、人権尊重意識の普及高揚を図る。

2. R7年度実施内容【6百万】

(参考) 令和6年度開催内容

(1) 開催概要

開催日：8月9日（土）

場 所：尼崎市記念公園ベイコム総合体育館

内 容：人権講演会、ふれあいイベント、
子ども多文化共生教育フォーラム、
人権啓発パネル展、人権啓発資料展示等

参加人数：2,300人（予定）



(2) その他

ひょうご・ユニバーサルデイ、
尼崎市平和映画会と同時開催



3. ロードマップ

項 目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
企画内容等の検討 関係者との調整		共催市等との協議 → 順次、企画内容の検討	地元調整→開催準備 成果検証

1. 事業概要

大阪・関西万博の開催に合わせ設定する「ひょうご EXPO week」の一つとして「災害からの創造的復興」をテーマとし、県内各地で実施する関連イベントを創造的復興ウィークに位置付け、災害の経験と教訓を発信・共有する。この関連イベントのIPとして、阪神・淡路大震災から30年の節目に「創造的復興」をテーマとし、被災地の知事や海外の自治体・関係機関などが意見交換のうえ、世界に向け発信する「創造的復興サミット」を開催する。

2. R7年度実施内容【18百万円】

(1) 開催時期

創造的復興ウィーク期間：2025年9月15日（月）～21日（日）

創造的復興サミット開催日：2025年9月20日（土）

(2) 創造的復興ウィーク関連イベント（予定・調整中）

創造的復興サミット、ALLHAT、IRPスペシャルフォーラム等

(3) 創造的復興サミットの開催

- ① 開催場所 神戸市内のホテル
- ② プログラム（予定）
 - 午前中：被災地の高校生等による活動報告
 - 午後：創造的復興サミット・共同記者会見
 - 翌日：サミット参加者のイクスカーション

ウクライナ



トルコ



※国内被災地の長、海外の被災自治体等 計20名程度

(4) 関連イベントのPR・創造的復興の理念や取組の共有・発信

ひょうご楽市楽座への出展、万博会場・県立美術館・各県民局・センターでの展示等を実施

3. ロードマップ

項目	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)
実施内容の検討、調整	実施内容の検討 → 参加者・会場等の調整		
広報物等制作		広報物等制作	
ウィークの実施・サミットの開催			実行楽座 サミット ウィーク期間

【再掲】

1. 事業概要

「防災」と「ツーリズム」を組み合わせることで、「楽しみながら防災を学ぶ」、「防災意識の向上とともに地域の魅力を堪能する」という相乗効果により、持続可能な、一過性にならない「防災意識の向上」と「地域の活性化」の両立を図る。創造的復興を次世代へ継承し、次なる災害に備えるため、安全安心で災害に強い社会づくりのための方策を提示。

2. R7年度の実施内容【4百万円】

- ・県内の防災関連資源と周辺の観光資源を組み合わせたツアーが民間事業者により市場化し、防災ツーリズムが普及・定着。（人と防災未来センター、三木広域防災センターや震災遺構等を活用）
- ・国内被災地の知事、海外の被災自治体等が出席する「創造的復興サミット」でのエクスカーションや、万博・ワールドパビリオン参加者等へ向けたプロモーションにより、国内外に阪神・淡路大震災からの「創造的復興」「防災先進県ひょうご」としての取組を発信。

(1) プロモーションツールの作成

① 動画、パンフレットの作成等

防災ツーリズムの普及・定着に向けて、防災ツーリズムの意義や理念、体験ストーリー（プログラム等）の情報等を纏めた動画・パンフレットを作成。それらのプロモーションツール（動画、パンフレット）を活用して、防災ツーリズムを幅広く周知。

② 専用ホームページの運営等

プロモーション動画や体験ストーリー（プログラム）の情報掲載等、防災ツーリズムに関する様々な情報を防災ツーリズム専用ホームページに掲載の上、積極的に発信。



人と防災未来センター



広域防災センター

3. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
全体スケジュール プロモーションツールの作成等	ストラテジーの立案	ストラテジーに基づく施策の実施・検証・改善	市場化、普及・定着 プロモーションツールの作成及び活用

多様な人々が安心して万博に参加・来県できる環境づくり

～誰一人取り残さない「ユニバーサルひょうご」の実現～

福祉部

1. 事業概要

2025年大阪・関西万博の開催に伴い、兵庫県を訪れる国内外からの多様な人々に対する県民のホスピタリティ向上を図り、安心して万博に参加・来県できる環境づくりを推進し、誰一人取り残さない「ユニバーサルひょうご」の実現を図る。

2. R7年度実施内容【13百万円】

(1)ひょうごから発信！みんなの声かけ運動の普及強化【4百万円】

ユニバーサルひょうご普及啓発強化員による普及啓発、ヘルプマークの普及

(2)みんなが輝く「ユニバーサルひょうご」出前講座【2百万円】

県民のホスピタリティ向上のための出前講座を実施（一般・学校・企業等）

(3)観光事業者等向け手話講座、安全確保実践研修、セミナー【7百万円】

観光業従事者等を対象に手話講座、視覚障害者の安全確保実践研修、盲ろう者の社会参加促進セミナー等を実施

(4)ひょうご・ユニバーサルデイの開催【0.5百万円】

多様な人々が活躍できる社会・だれ一人取り残さないユニバーサル社会に関する県民参加型のイベント（講座、体験会、展示販売等）を一体的に開催
【開催日】8月9日（土）【場所】尼崎市記念公園ベイコム総合体育館
※ひょうご・ヒューマンフェスティバル等と同時開催



3. ロードマップ

項目	2023年度（R5）	2024年度（R6）	2025年度（R7）
①普及啓発の強化	ユニバーサルひょうご普及啓発強化員による普及啓発、ヘルプマークの普及		ひょうご・ユニバーサルデイの開催
②出前講座	出前講座の実施と、受講者による地域や職域での実践活動の促進		
③手話講座、実践研修、セミナー	観光事業者等向けの手話講座、視覚障害者の安全確保実践研修、盲ろう者の社会参加セミナー		

障害があっても一人ひとりが望む多様な未来社会をデザイン ～誰一人取り残されない「ユニバーサルひょうご」の実現～

福祉部

1. 事業概要

誰もが互いの多様性を認め、2025大阪関西万博のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」の実現につなげるため、障害があっても一人ひとりが望む生き方を考える機会として、障害児等に職業体験の機会を提供し、働くことの大切さを学び未来の夢を育む機会とする。

2. R7年度実施内容【5百万円】

(1) 目的

障害のあるお子様が楽しみながら社会の仕組みを学び、未来の夢を育む機会となるよう、職業社会体験施設「キッズニア甲子園」において、職業体験の機会を提供する。

(2) 内容

障害児等に職業体験の機会を提供
県内特別支援学校に参加を呼びかけ、3歳以上15歳以下の障害のあるお子様を対象に職業体験を実施。R6年度より、障害の種別を問わず、知的・精神・身体等の障害のあるお子様を対象として、「キッズニア甲子園」を半日（土曜日16時～21時）貸し切り実施。



3. ロードマップ

項目	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)
障害児等に職業体験の機会を提供	知的のみ対象	→	知的・精神・身体等全障害児を対象 (県内の特別支援学校へ参加呼びかけ)

1. 事業概要

「ひょうごビジョン2050」と歯及び口腔の健康づくり推進条例に基づき、「ひょうご EXPO week」のテーマのひとつである‘健康とウェルビーイング’week期間において、産学官と関係団体、兵庫県ゆかりの著名人が協働し、全世代が楽しみながら学べるイベントを実施。さらに、継続した広報・啓発により県民の健口意識の向上を目指す。

2. R7年度実施内容【9百万円】

(1) 県民の健口意識醸成イベントの開催【2百万円】

- ① ひょうご健口推進部長による歯科保健体験ツアー動画上映
- ② ひょうご健口推進部長×健口アンバサダー×歯科学識者によるトークショー

(2) 歯科保健体験ツアー動画の作成【1百万円】

産学官連携により、ひょうご健口推進部長による歯科保健体験ツアー動画を作成し、県民が自身の健口意識向上のための疑似体験ができるよう、県HP上で公開。

(3) イベントに関する広報【2百万円】

(4) 口腔保健支援センターにおける啓発強化【4百万円】

「ひょうご EXPO week」の‘健康とウェルビーイング’weekを契機としたイベント単発で終わらない継続した広報を実施。

R7年度は、県HP上に歯科保健ポータルサイト「# ひょうご健口推進部(仮称)」を作成し、県民が正しい歯科保健に関する知識を、よりわかりやすく、より簡便に取得することができるよう促す。



3. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
(1) 意識醸成イベントの開催		企画 開催	企画 開催
(2) 体験ツアー動画作成			企画・制作 公開
(3) 万博(健康とウェルビーイング)に関する広報		実施	
(4) 啓発強化			企画 実施

万博に向けた国際フロンティア産業メッセの開催

産業労働部

1. 事業概要

企業や大学・研究機関による先端技術の紹介や新事業創出の基盤となる製品展示を中心に、基調講演、特別講演、各種セミナーや交流会など多彩なプログラムを展開し、技術交流・ビジネスマッチングを進める機会を提供する。

万博開催に向けて増加する海外からのビジネス客も取り込むことで、企業のさらなる国際展開を目指す。



産業メッセ開催の様子

2. R7年度実施内容【8百万円（県分担金）】

- ・万博で注目される最先端技術のPR
- ・「万博」関連テーマの講演・セミナー開催
- ・「国際ゾーン」の展開
- ・「じばさんフェア」の開催
- ・県内高校・大学生の参加を促進

年度	共通テーマ	万博に向けた特別テーマのイメージ
2023	持続可能な未来社会の構築 (SDGs)	未来を創るイノベーション（「万博」に向けたシーズとなり得る、世界を見据えた先端技術を幅広く発信）
2024		未来のショーケース（兵庫が誇る未来技術を「万博」に向けて発信）
2025		国際シナジーの創出（兵庫が誇る未来技術を発信、国際ビジネス客の誘致を通じたマッチング・国際交流の推進、テーマウィークやフィールドパビリオンと連動したHYOGOの世界発信）

3. ロードマップ

項目	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)
イベント開催	企画・調整 2023開催	企画・調整 2024開催	企画・調整 2025開催
テーマ	<p>未来を創るイノベーション</p>  <p>空飛ぶクルマ SD-03 (SkyDrive)</p>  <p>水素エンジン搭載バギー (カワサキモーターズ)</p>	<p>未来のショーケース</p>  <p>手術支援ロボット 「hinotori™」サージカルロボットシステム (メディカロイド)</p>  <p>はやぶさ2 (C)宇宙航空研究開発機構 (JAXA)</p>	<p>国際シナジーの創出</p>  <p>万博イメージ</p>
	<p>共通テーマ：SDGs</p> 		

1. 事業概要

兵庫の地場産業について、大阪・関西万博を訪れる国内外の人々に対し、製品の歴史的背景に基づくストーリー、商品の魅力、作り手の熱意等、県内地場産業・製品の『魅力』を発信し、産地の活性化を図る。

万博会場での地場産業ブース出展により、県内地場産業のPRやフィールドパビリオンへの誘引を実施するとともに、ひょうごEXPOweek「ひょうごの成長産業と地場産業」期間中の展示販売会等の開催を通じて、県内地場産地の取組を支援する。

2. R7年度実施内容【39百万円】

(1) 実施方法 (公財) 神戸ファッション協会への補助

(2) 実施内容

①万博会場における地場産業ブース出展

期間：令和7年4月26日(土)～4月30日(水)

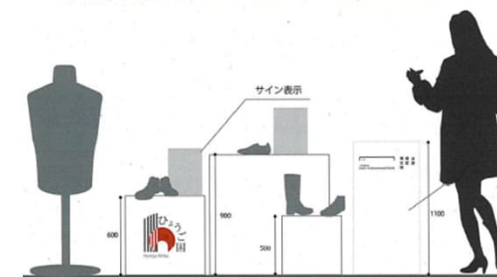
大阪・関西万博会場ギャラリーWEST内における展示

世界各国からの来訪者が見込まれる万博会場において、県内地場産業をPRするブース出展を行い、各産地の特色のある製品の展示やワークショップ等による伝統技術の披露など、兵庫県が世界に誇る地場産業・製品の魅力を世界へ発信する。

②ひょうごEXPOweek『ひょうごの成長産業と地場産業』集客イベント開催

期間：令和7年8月30日(土)～9月8日(月)

ひょうごEXPOweek『ひょうごの成長産業と地場産業』期間中に、大規模な集客が見込める県内商業施設等において、地場製品のPRを目的とした集客イベントを開催する。



(展示イメージ)

3. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
<ul style="list-style-type: none"> 産地の商品磨き上げ・産地の新商品開発 万博会場等でのPR 	産地間コラボ商品開発	→ 海外へ売れる商品へのブラッシュアップ	→ 万博会場・FP・県内会場にてPR

1. 事業概要

大阪・関西万博でも掲げている世界共通の目標であるSDGsの達成をテーマに、マインドの高い学生、起業を志す若者によるビジネスプランプレゼンテーション審査会「スタートアップチャレンジ甲子園」を兵庫県・大阪府で共催。両府県の学生等による意見交換や相互交流を通じ、VUCA※と言われる時代の中で新たな事業を創造し、リスクに立ち向かう精神・姿勢（アントレプレナーシップ）を醸成。

※VUCA...「Volatile: 不安定、Uncertain: 不確実、Complex: 複雑、Ambiguous: 曖昧」の頭文字の総称。
問題を「解決」するよりも「発見」する力、本質を見抜く力が求められる時代とされる。

2. R7年度実施内容【0.7百万円】

(1) 参加募集【0.2百万円】

- ・チラシ印刷費など

(2) 県予選【0.3百万円】

- ・書面審査、面談審査の委員謝金

(3) 本大会【0.2百万円】

- ・本大会審査員の謝金、旅費

(4) 受賞者フォローアップ

- ・協賛サポーター企業との連携促進や
- ・兵庫県開催イベントの周知など



▲R5.11.12@ちゃやまちプラザ（大阪）

ジュニア部門最優秀：県立加古川東高校（写真左）
シニア部門最優秀：神戸大学（写真右）

▲R6.11.10@起業プラザひょうご（兵庫）

ジュニア部門最優秀：県立長田高校（写真左）
シニア部門最優秀：株式会社FORESTBANK（写真右）

3. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
参加募集	参加募集	参加募集	参加募集
県予選	県予選	県予選	県予選
本大会	本大会 大阪開催	本大会 兵庫開催	本大会 大阪開催
受賞者フォローアップ	受賞者フォローアップ		

1. 事業概要

世界最高水準の性能と汎用性を有するスーパーコンピュータ「富岳」を紹介するとともに、スーパーコンピュータやシミュレーションの活用が私たちの与える影響についてわかりやすく解説するセミナー。スーパーコンピュータ「富岳」の見学会も併催（予定）し、県内外幅広い方々にスーパーコンピュータ（スパコン）について知ってもらうべく、EXPOweekとしての開催を目指して調整中。

2. R7年度実施内容【0.05百万円】

（1）セミナーの開催

県民を対象に、スーパーコンピュータに興味を持ってもらい、科学技術に関する施策の理解増進を図るために講演やセミナー等を開催

【参考】R6年度開催実績【0.05百万円】

- （1）開催日：令和6年12月14日（土）
- （2）場 所：計算科学センタービル2階セミナー室（神戸市中央区港島南町7-1-28）
- （3）内 容：

- 【講演①】（国研）理化学研究所計算科学研究センター
離散事象シミュレーション研究チーム チームリーダー 伊藤 伸泰氏
「スーパーコンピュータ「富岳」を活用した都市交通・人流シミュレーションとその応用」
- 【講演②】阪神高速道路（株）建設事業本部神戸建設部 篠原 聖二氏
「スーパーコンピュータ「富岳」を用いて神戸港に世界最大級の長大橋を架ける」
- 【質問会・意見交換会】
- 【スーパーコンピュータ「富岳」見学会】



2024年度（令和6年度）
セミナー案内

3. ロードマップ

項 目	2023年度(R5)		2024年度(R6)		2025年度(R7)	
スパコンセミナーの 開催	企画・検討	開催	企画・検討	開催	企画・検討	開催

1. 事業概要

県内外から多くの企業が訪れる大阪・関西万博を契機に、本県オープンイノベーション支援施策や他社との共創に積極的に取り組む県内企業等の情報を広く発信することで、本県施策のPRならびに県内企業の共創に向けたマッチング等を促進

2. R7年度実施内容【0.9百万円】

情報発信イベント「ひょうごオープンイノベーションカンファレンス（仮称）」の開催

本県オープンイノベーション支援施策の取組等を県内外の企業やスタートアップ、支援者等に広く発信することで、県内での共創プロジェクトに県内外のあらゆるプレイヤーの参画を促進させることで、県内企業や県内をフィールドとした共創・協業を促進

【実施概要（想定）】

【回数】 1回

【時期】 令和7年8月30日～9月8日の中でいずれか1日

【場所】 神戸国際展示場（「国際フロンティア産業メッセ」内）または起業プラザひょうご

【内容】 オープンイノベーションに関する基調講演、実践事例の紹介（パネルディスカッション）、スタートアップおよび県内企業によるピッチ、マッチング商談 等



機運醸成イベントの様子（起業プラザひょうご）

3. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
機運醸成、マッチング支援 情報発信	県内企業に対するオープンイノベーションの機運醸成イベントの実施、スタートアップ等とのマッチング支援		県内外のプレイヤーに対する情報発信

1. 事業概要

これまでの起業・創業やスタートアップ支援の取組の成果等を踏まえ、大阪・関西万博を契機に、県外の起業家や支援者等に対して、起業プラザひょうごをはじめとする本県スタートアップ支援施策や起業プラザひょうご会員企業のPRを強化することで、会員企業の増加ならびに成長を促進

2. R7年度実施内容【0.6百万円】

スタートアップ支援を本格化させるため、三井住友銀行との連携強化を見込んだ現場所への移転から5周年を迎えることを契機に、県内外のスタートアップや既存企業、支援機関、金融機関、大学、行政機関等が一堂に会するイベントを開催し、会員企業のさらなる成長やスタートアップの誘致等による会員増加を図る。

〔回数〕 1回

〔時期〕 令和7年8月30日～9月8日の中でいずれか1日

〔場所〕 起業プラザひょうご

〔内容〕 起業プラザひょうごや本県スタートアップ支援施策の紹介、著名起業家等による講演、起業プラザひょうご会員によるピッチ 等



3. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
起業家、スタートアップ支援 情報発信		創業支援、事業拡大支援、コミュニティ形成等	県外のプレイヤーに対する情報発信

1. 事業概要

小学生等を対象に木工・金工等の工作教室を開催し、高度な技、ものづくりのプロセスを実際に目で見て、手で作り上げ、ものづくりの楽しさや奥深さ、達成感を体験できる講座を随時実施する。

2. R7年度実施内容【15百万円】

例年土日や8月を中心に実施しているところ、R7年度はひょうごEXPO week期間中にも実施

R7年度ものづくり体験講座実施予定数

講座数	80回程度 (体験館50回、神戸20回、但馬10回)
参加人数	720人程度 (体験館450人、神戸180人、但馬90人)

※このうち、いくつかをひょうごEXPO week期間中に実施

【講座例】

金属板ペン立て、木製ティッシュケース、革の三角折りサイフ、錫のキーホルダーなど



鑄造キーホルダー



日本料理



三畳

3. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
ものづくり体験講座	体験内容の企画	体験内容の企画	体験内容の企画
	体験者の募集	体験者の募集	体験者の募集
	講座実施	講座実施	講座実施
			ひょうごEXPO week 期間も実施

1. 事業概要

「ひょうご農林水産ビジョン2030」のめざす姿（御食国ひょうご令和の挑戦～都市近郊の立地を活かした農林水産業の基幹産業化と五国の持続的発展）とSDGs（持続可能な開発目標）は、農林水産業・農山漁村を含め「持続可能な地域づくり」をめざす観点で合致しており、また、それぞれは2030年を目標とする点でも共通している。

このような認識のもと、ビジョンの実現に向けた取組と合わせて、2025年の大阪・関西万博を契機に、SDGsの内容の正しい理解や取組方法を学ぶため、推進役となる行政職員や実践者となる農林漁業者等を対象としたセミナーを開催し、本県農林水産業・農山漁村の持続的な発展に結びつけていく。

2. R7年度実施内容【0.1百万円】

- (1) 開催時期 令和7年6月中旬（1回）
2時間30分程度を予定
- (2) 会場等 対面（神戸・元町近辺を予定）+オンライン
- (3) 対象者 行政関係者、農林漁業者、農林漁業団体等



【令和6年度開催の様子】

3. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
ひょうご農林水産SDGsセミナーの開催	セミナー開催	セミナー開催	セミナー開催

1. 事業概要

公共施設や民間建築物（店舗・社屋）等の非住宅分野における県産木材の需要拡大を図るため、市町の建築工事を発注する部局、建築士事務所及び工務店の担当者らを対象に、木材の特性、新しい木材利用技術及び県産木材の調達方法等について学ぶ研修会を「ひょうごEXPO week」（食と暮らしの未来）にあわせて開催

2. R7年度実施内容【0.5百万円】

R7年度非住宅木造建築研修会の開催

- (1) 開催時期 【第1回】令和7年6月16日（月）
【第2回】時期未定
- (2) 会場等 【第1回】県立総合射撃場（ハンターズフィールド三木）
【第2回】場所未定
- (3) 対象者 発注者：県市町の建築工事を発注する部局、
 保育園経営者等民間事業者等
 設計受託者・請負者：建築設計事務所、工務店等
 木材加工流通業者：木材市場、製材工場、プレカット工場等
- (4) 内容（予定）
 - ① 県産木材を利用する意義について
 - ② 最先端の木材利用技術の紹介
 - ③ 県産木材の流通体制について
 - ④ 非住宅建築物に県産木材を利用するための工夫や留意点について
 - ⑤ 非住宅木造建築物の現地視察



R6年度研修の様子(県立総合射撃場)

3. ロードマップ

項目	2023年度(R5)		2024年度(R6)		2025年度(R7)	
研修会の開催	第1回	第2回	第1回	第2回	第1回	第2回

1. 事業概要

おいしいごはんを食べよう県民運動推進協議会では、「ごはん」を通じて健康的な食生活の在り方や農業・農村の役割、食料問題を考え、「ごはん」を中心とした健康的な食生活を実践、行動するという運動を推進している。

県民運動を実践している会員団体の取組を紹介する事例発表会をEXPO weekにあわせて開催し、農業・農村の持続的な発展や、食料の持続的な自給について多くの人が考え、学びとなる機会を提供する。

2. R7年度実施内容

- (1) 開催時期 令和7年7月下旬（1回）
1時間30分程度を予定
- (2) 会場 対面（神戸・元町近辺を予定）
- (3) 対象者 協議会会員、来賓、県民等



【令和6年度開催の様子】

3. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
おいしいごはんを食べよう県民運動事例発表会の開催	事例発表会開催	事例発表会開催	事例発表会開催

1. 事業概要

令和7年の大阪・関西万博の開催を契機に、万博のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」に合わせ、生物多様性に配慮した環境にやさしい農業、農法に取り組んでいる兵庫県・豊岡市と、新潟県・佐渡市が連携して、農業と環境が融合した先導的なこれまでの取組の意義や効果を発信し、今後の食や、次世代につなぐ地域の未来について考える。

2. R7年度実施内容【6百万円】

- (1) 開催日 令和7年6月7日（土）
- (2) 会場等 豊岡市民会館 + 動画等での発信
- (3) 対象者 SDGs や農業・農村に関心のあるすべての消費者
- (4) 内 容
 - ①農業と環境に関する講演、及び環境創造型農業に取り組む農業者等からの事例報告
 - ②豊岡市と佐渡市で環境学習に取り組んでいる小学6年生からの学習発表
 - ③意見交換
 - ④コウノトリ育む農法取組水田の現地見学
 - ⑤コウノトリ育む米などを使ったおにぎり等の提供
 - ⑥パネル展示や動画を活用した会場、HP等での取組発信



3. ロードマップ

項 目	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)
サミットの開催	内部調整	企画作成、実施に向けた調整、準備	開催準備 開催 動画等での事後発信

1. 事業概要

2025年大阪・関西万博を契機に、里山・里海の重要性や保全と再生に向けた取組を国内外に発信し、持続可能な地域を目指す。

2. R7年度実施内容【4百万円】

幅広い世代の参画による「ひょうご里山・里海国際フォーラム」を開催

- (1) 開催時期：令和7年9月27日（土）～28日（日）
- (2) 開催場所：兵庫津ミュージアム「ひょうごはじまり館」
- (3) 内 容：
 - ① 基調講演
里山や里海を活用した地域循環共生圏の推進に向けた講演
 - ② 里山国際フォーラム
北摂里山における取組紹介や国内外の里山の現状・未来を議論
 - ③ 里海国際フォーラム
瀬戸内海における取組紹介や国内外の里海の現状・未来を議論
 - ④ ポスターセッション
県内高校生による研究活動の発表
 - ⑤ Z世代からの提言
Z世代による里山・里海への関わり方や発信方法を提言



3. ロードマップ

項 目	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)
ひょうご里山・里海国際フォーラム		企画検討・内部調整	実施準備 開催

1. 事業概要

国際シンポジウム及びセミナーを開催し、万博が目指すSDGs達成のための先導的な取り組み事例等を発信し、万博への参画意欲の高揚と万博テーマの推進に寄与する



シンポジウムイメージ

2. R7年度実施内容【1百万円】

<国際シンポジウムの開催>

場 所：神戸市内

テ - マ：「ワンヘルスの実現に向けたランドスケープマネジメント」
(仮題)

参加者定員：200名程度

※ セミナー等の広報媒体（チラシ・ポスター）に大阪・関西万博のロゴを掲載し周知活動

<SDG'sに関連する活動事例>

- ・あわじ石の寝屋緑地30by30における生物多様性保全
- ・特定外来生物オオフサモ駆除（遮光、刈り取り）の取組
- ・植物との関わりによる健康効果啓発の取組



ため池の修復
(あわじ石の寝屋緑地)



オオフサモの駆除



植物との関わりによるセルフ・ヒーリング講座の様子



3. ロードマップ

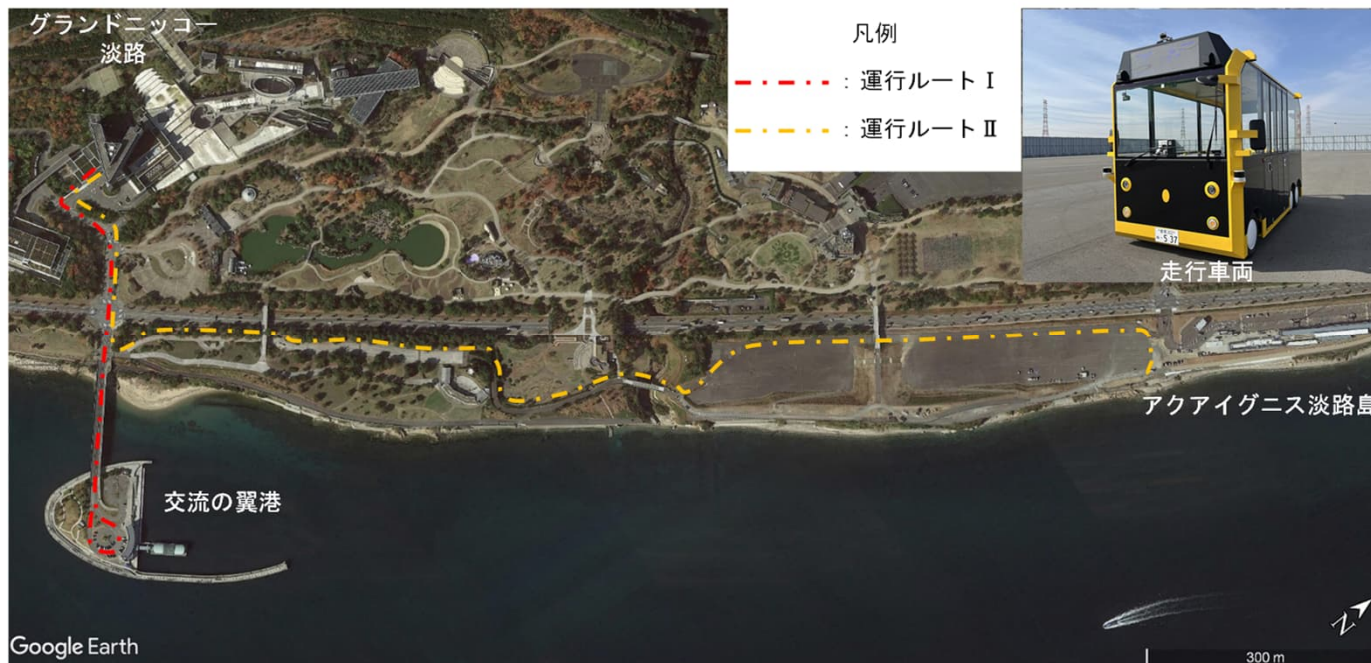
項 目	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)
企画・立案	企画		
周知・実施		セミナー開催 (対面・オンライン)	シンポジウム開催 (対面・オンライン)

1. 事業概要

ひょうごEXPO week「未来のコミュニティとモビリティ」の期間中、淡路夢舞台地区にて、乗客を乗せた自動運転による実証実験を実施し、来訪者の移動支援を行うことを予定している。

2. R7年度の実施内容【70百万円】

- Lv4※1相当の自動運転車両運行。
- 淡路交流の翼港、ホテルグランドニッコー淡路、国営明石海峡公園、アクアイグニス淡路島を結ぶ移動手段。
- 実証実験を通して蓄積したノウハウを県内自治体などと共有し、今後の技術革新・規制緩和を踏まえた実用化につなげる。



3. ロードマップ

項目	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)
センサー類設置・調整	自動運転車両走行に必要なセンサー類設置・調整		
公道実証実験	Lv2 ※2自動運転実証実験 (搭乗型、遠隔型)	Lv4 ※1自動運転に対応した車両 にて実証実験	Lv2※2及びLv4※1相当自動運転 実証実験
報告書作成等	R5年度実証実験結果検証 R6年度実証実験計画検討	R6年度実証実験結果検証 R7年度実証実験計画検討	R7年度実証実験結果検証

※1: 自動運転Lv4 (全てシステムが運転)

※2: 自動運転Lv2(運転手主体 (システムは補助))

1. 事業概要

がん治療法の一つである粒子線治療は、高精度な照射、副作用の軽減、治療効果の向上による治療中・治療後の患者のQOL（Quality of Life）の維持という観点から注目されている。

ひょうご EXPO weekでは、陽子線及び重粒子線の2種類の粒子線治療が可能な世界初・日本唯一の施設である県立粒子線医療センター及び小児がんに重点をおいた附属神戸陽子線センターで実践・研究されている、がん治療先端医療技術である粒子線治療について、広くPRし、普及啓発を図る。

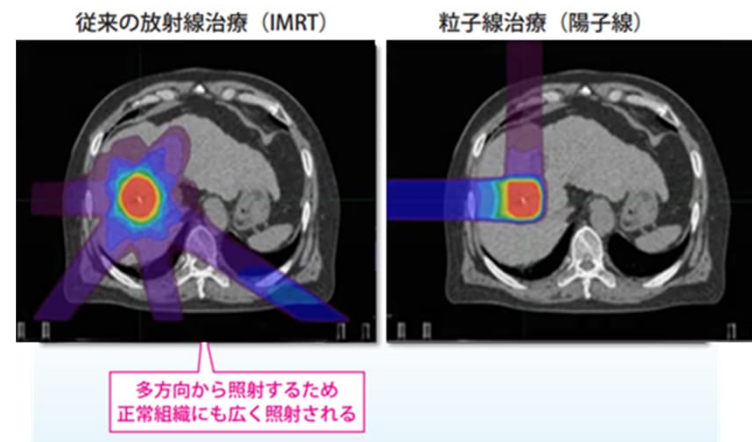
2. R7年度実施内容【1百万円】

ひょうごEXPO week「健康とウェルビーイング」ウィークのシンクロイベントとして粒子線治療に関する講演会を行い、情報を広く発信し、粒子線治療に対する認知度の向上を目指す。

※2025年（令和7年）6月29日（日）、姫路キャスパホールで開催予定。時間・申込方法等は後日案内。



例：肝臓がんでの比較



3. ロードマップ

項目	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)
講演会の開催	詳細検討・関係機関との調整	講演会開催に向けた準備・広報活動の実施	開催 6/29

「都市山・六甲山」魅力発信 ～自然とアートのコラボレーション～

神戸
県民センター

【再掲】

1. 事業概要

としま

市街地からのアクセスにも優れた「都市山・六甲山」のポテンシャルを生かしつつ、地域の各主体も関わる魅力作りに参画し、公民連携により「自然」と「観光」を掛け合わせた事業を展開する。また、2025年大阪・関西万博開催に向け、インバウンドをはじめとする各種誘客に対応するコンテンツ整備を行い、新たな六甲山全体の活性化を図る。

2. R7年度実施内容【5百万円】

(1)六甲山インバウンド等対応事業【1百万円】

県立六甲山ビジターセンターにおいて、インバウンド等に対応するためのコンテンツ整備等を実施する。

(2)神戸六甲ミーツ・アート beyondの作品展示、ガイドツアー事業【2百万円】

六甲摩耶観光推進協議会(*)と連携し、県立六甲山ビジターセンター会場への作品展示や展示会場をガイド付きで巡るツアーを複数回実施する。

(*)六甲山、摩耶山の観光事業の発展向上を計ることを目的として、山上施設及び関係行政機関等で構成する協議会。

(3)六甲山周年イベント事業【1百万円】

六甲摩耶観光推進協議会と連携し、県立六甲山ビジターセンターにおいて、各種イベントと併せて、キッチンカー出店等の賑わいづくりイベントを実施する。

(4)自然探索ツアー事業【0.9百万円】

県立六甲山ビジターセンター周辺において、環境活動団体と連携し、季節の花や生き物など六甲山の自然に触れあうツアーを実施する。



神戸六甲ミーツ・アート beyond展示作品のイメージ



キッチンカー出店



県立六甲山ビジターセンター

3. ロードマップ

項目	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)
「都市山・六甲山」魅力発信事業	Mt.Rokkoロゲイングの開催		フィールドパビリオンの展開
	六甲山みどころツアー		六甲山インバウンド等対応事業
		神戸六甲ミーツ・アート beyond作品展示、ガイドツアーの実施	
		ビジターセンター賑わいづくり	六甲山周年イベントの実施
	自然探索ツアーの実施		

1. 事業概要

ひょうごフィールドパビリオンの理念と軌を一にする「阪神アグリパーク構想」の関連事業を展開するとともに、阪神北地域のひょうごフィールドパビリオンの造成を支援し、連動して広報PRや誘客促進を図り、持続可能な取組となるよう事業を推進していく。

2. R7年度実施内容【4百万円】

(1) 阪神アグリパーク構想の推進【テーマ：食と暮らしの未来】

都市・都市近郊農業の振興と地域の魅力向上を図るため、農業者や食関連事業者等との連携の下、都市と農村が共存する阪神地域の特色を活かした多彩な「農」と食に関わる活動拠点をアトラクションとし、地域全体をテーマパークに見立てた「阪神アグリパーク構想」を推進する。

- ・「阪神アグリパーク構想」の理念が地元住民に浸透し、シビックプライドが醸成される。
- ・阪神北管内FPプレイヤー、管内市町、地元住民、地域の学生・団体等、県民局のネットワークが構築される。
- ・地域資源の魅力向上により、地元以外との交流が促進され、地域の活性化につながる。



①地産地消の観点から「メト in 阪神」発信プロジェクトとして、モバイルスタンプラリー等を実施【2百万円】



②「阪神産黒大豆枝豆」のブランド化やさやもぎ体験等による食育を通じた需要拡大【2百万円】

4. ロードマップ

項目	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)
阪神アグリパーク構想の推進	事業実施	事業の効果検証	万博を見据えた事業展開
		ブラッシュアップ	ひょうごEXPOweekと連動した事業実施、万博の誘客促進

北摂里山博物館構想の推進

- 里山資源を活用した環境学習・環境創生 -

1. 事業概要

ひょうごフィールドパビリオンの理念と軌を一にする「北摂里山博物館構想」の関連事業を展開するとともに、阪神北地域のひょうごフィールドパビリオンの造成を支援し、連動して広報PRや誘客促進を図り、持続可能な取組となるよう事業を推進していく。

2. R7年度実施内容【4百万円】

(1) 北摂里山博物館構想の推進【テーマ：地球の未来と生物多様性】

北摂里山の持続的な保全を図り、地域の活性化につなげる“北摂里山博物館構想”を進めるために、里山・天然記念物の保全管理や環境学習の支援などを担っている地域団体等と連携しながら、里山資源を活用した環境学習・環境創生を推進する。

- ・里山をフィールドとする昆虫・植物観察や炭焼き・木工体験などにより、小中学生が五感を通じて里山への理解や愛着を深める「こども北摂里山探検隊」を実施
- ・里山の再生と管理、生物多様性、歴史・文化などを学び、実習中心のプログラムを通じて里山の保全や地域の活性化に取り組む人材の育成を行う「北摂里山大学」を開講



4. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
北摂里山博物館構想	事業実施 事業の効果検証	万博を見据えた 事業展開 ブラッシュアップ FP造成支援	ひょうごEXPOweekと連動した 事業実施、万博の誘客促進

1. 事業概要

開催中の「大阪・関西万博」のさらなる機運醸成や、「ひょうごフィールドパビリオン」の認知度向上を図るとともに、播磨科学公園都市の賑わい創出と西播磨地域の連携・交流を促進するため、ステージ・ブース出展などの地域PR・観光イベントを開催

2. R7年度実施内容【15百万円】

- (1) 時期：令和7年9～11月（調整中）
- (2) 場所：播磨科学公園都市 芝生広場（赤穂郡上郡町光都2丁目21）
- (3) 内容

①万博・フィールドパビリオン

「大阪・関西万博」PR、「ひょうごフィールドパビリオン」PRと体験

②次世代に向けた新たな体験の提供

ダンスコンテスト、ダンス体験、スケボー体験、クライミング体験、楽器演奏体験

③「創造的復興理念」の共有・継承

震災・水害の記録、復興の歩みの展示、災害時ドローン活用の展示、地震体験車による体験、自衛隊・消防・県警等車両見学 等

④次世代技術の展示・体験

ドローン、水素関係、「Spring 8」・「SACLA」見学会、科学教室、天体関係の展示・体験、ロボット関係の展示・体験等

⑤地域の情報発信・交流促進

各市町・観光協会、地域づくり活動、立地企業PR、西播磨特産品市、キッチンカー、飲食店ブース等



西播磨フロンティア祭2024ステージ 万博PRコーナー

3. ロードマップ

項目	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)
西播磨フロンティア祭の開催	10/21 西播磨フロンティア祭	10/26 西播磨フロンティア祭	9～11月 西播磨フロンティア祭

「水」と「緑」と「古」に出会う西播磨ツーリズムの推進

西播磨県民局

1. 事業概要

西播磨地域の美しい「水」や「緑」にまつわる観光資源、この地に根ざした「古（いにしえ）」の歴史資源や伝統文化を積極的に情報発信するとともに、交流人口の拡大・万博に向けた誘客促進など、戦略的なツーリズムを推進。

【再掲】

2. R7年度実施内容【14百万円】

(1) 西播磨「水のさと」水系自慢プロジェクト【0.8百万円】

「水」にまつわる観光資源の知名度向上と誘客促進を図るため、千種川、揖保川、瀬戸内海岸をはじめとする、「水」にまつわるストーリー・写真・映像を部門ごとに募集する水系自慢コンテストを開催し、それらの素材を活用した観光PR動画を作成。

(2) 西播磨を巡るデジタルスタンプラリー【3百万円】

「ひょうごフィールドパビリオン」として認定されたスポット、「水」にまつわるスポット、山城、レトロな街並、道の駅など西播磨地域の魅力的な観光スポットを巡るデジタルスタンプラリーを実施。

(3) 「観光カード」による観光プロモーション【2百万円】

管内の写真映えする観光スポットのPR・知名度向上を図るため、インバウンド等をターゲットに、多言語対応可能な観光カードを作成し、イベント等で配布。

(4) 西播磨の山城魅力情報発信事業【8百万円】※地域創生枠

- ①山城ガイドによる大規模イベントでの魅力発信
- ②ホームページ「西播磨遊記」山城サイトの英訳
- ③ARアプリ「西播磨の山城へGO」の充実・強化
- ④山城ガイドの後進育成
- ⑤山城とひょうごフィールドパビリオンへの来訪者促進（デジタルスタンプラリー）



【赤西溪谷（宍粟市）】



【利神城（佐用町）】

3. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
「水」と「緑」と「古」に出会う西播磨ツーリズムの推進	デジタルスタンプラリー 観光カード 水系自慢	デジタルスタンプラリー 観光カード 水系自慢	デジタルスタンプラリー 観光カード 水系自慢 西播磨の山城

1. 事業概要

【再掲】

「大阪・関西万博」の開催を機に、「尼崎P&R駐車場」隣接地である尼崎フェニックス事業用地で開催される「ひょうご楽市楽座」において、FPを含めた西播磨の各市町の魅力を国内外に広く発信することで、万博後も含めた誘客促進を図る。

2. R7年度実施内容【1百万円】

「ひょうご楽市楽座」での西播磨観光プロモーション

期間：2025年8月16日(土)・17日(日)、23日(土)、24日(日)

時間：午後4時～午後9時

場所：尼崎フェニックス事業用地（「尼崎万博P & R 駐車場」隣接地）

内容：観光コンテンツ・特産品PR、観光PR動画放映等



【2024水系自慢コンテスト最優秀賞】

3. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
万博における西播磨観光プロモーションの展開		<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 20px; background-color: #0070C0;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 20px; background-color: #0070C0;"></div> </div> <p>企画・コンテンツ作成 プロモーション</p>	<div style="border: 1px solid black; width: 50px; height: 20px; background-color: #0070C0;"></div> <p>プロモーション</p>

1. 事業概要

豊岡市中心部は、1925年の北但大震災で多くの建築物が倒壊・焼失したが、その復興事業では、当時としては珍しい鉄筋コンクリート造建築物が多く整備された。現在でもそれらのいくつかが現存しており、当時の建築文化やまち並みを感じることができる。また、2024年8月には県景観条例に基づく景観遺産に登録された。

万博イヤーの2025年は震災から100年にあたることから、当時を振り返り、防災減災の重要性を改めて啓発するとともに、100年生き残った建築物の魅力を確認するイベントの開催、移住定住の促進や地域活性化につなげる取り組みを進める。



豊岡稽古堂 (1928)

2. R7年度実施内容【1百万円】

(1) 歴史的価値の普及啓発

- ① 豊岡復興建築群の情報発信（デジタルマップの活用・更新）
- ② 中学校や高等学校での出前講座の実施

(2) 復興建築を活用した地域活性化（市や地域団体等と連携）

- ① 復興建築群スタンプラリーの開催
- ② 買い物や食べ歩きなど復興建築群を巡りながら楽しめるイベントの開催



大開通り商店街のまちなみ



豊岡1925 (1934)



復興建築群のまち並みを楽しみながら巡る



豊岡劇場 (1927)



料亭 とゞ兵 (1929)

4. ロードマップ

項目	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)
歴史的価値の普及啓発	景観遺産登録 (R6.8.27)	震災復興出前講座	震災復興出前講座
復興建築群の活用	デジタルマップ作成	まちあるきイベント開催	復興100年イベント・まちあるきイベント

「コウノトリ・トキの野生復帰と環境創造型農業の推進」の取組を通じた情報発信と交流促進

1. 事業概要

コウノトリの野生復帰や環境創造型農業(コウノトリ育む農法)に取り組む豊岡市と、同様の取り組みを展開する新潟県佐渡市との連携・交流を促進し、成果を広く国内外に情報発信することで、但馬地域への来訪者の増加を図る。

2. R7年度実施内容【0.5百万円】

新潟・兵庫連携会議における「コウノトリ・トキの野生復帰」、「環境創造型農業の推進」の取組について、小学校どうしの交流（野生復帰や環境創造型農業に関するオンライン授業、生き物調査等の対面学習）の成果発表とともに、関連するひょうごフィールドパビリオンのPRを令和7年6月に開催予定の環境創造型農業サミット（仮称）において実施する。



▲環境創造型農業のシンボル



▲オンライン交流授業の様子



▲対面交流学习（生き物調査）

3. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
小学校どうしの交流等を通じた情報発信	オンライン交流授業	対面交流学习	対面交流学习 環境創造型農業サミットでの成果発表

1. 事業概要

丹波地域全体を「丹波の森」と称して、人と自然と文化の調和した地域づくりに取り組む「丹波の森構想」を、住民・事業者・行政が一体となって進めてきた。平成7年に「丹波の森国際音楽祭シューベルティアードたんば」がスタートし、令和6年には30周年を迎えた。

学校やお寺、美術館など丹波地域の各地で開催する「街角コンサート」や、地域の小学校にプロの演奏家が出向き、小学生に優れた音楽を身近に感じてもらう機会を提供する「ふるさと音楽ひろば」など、他地域では類を見ない音楽祭を展開している。

2. R7年度実施内容【1百万円】

(1)丹波の森国際音楽祭シューベルティアードたんばの開催

令和7年には著名なオーケストラを招聘し、大阪・関西万博開催を記念したコンサートを開催することで、国際交流の機運を高める。



《近年の主な周年イベント》

- H26 20周年記念コンサート
- H30 県政150周年記念コンサート
- R元 25周年記念コンサート
- R5 丹波の森・ウィーンの森国際交流30周年記念コンサート
- R6 30周年記念コンサート
- R7 大阪・関西万博開催記念コンサート



3. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
丹波の森国際音楽祭の開催	企画立案→音楽祭の開催	企画立案→音楽祭の開催	企画立案→音楽祭の開催

1. 事業概要

淡路島では、2011年からあわじ環境未来島構想の下、「エネルギーの持続」「農と食の持続」「暮らしの持続」に取り組んできた。万博に向け、島内で様々な取り組みが行われている現場を巡り、体験しながらSDGsや淡路島の未来を考えるツアーを開催するとともに、教育旅行や視察旅行に適した視察先を情報提供する。

2. R7年度の実施内容

- (1)あわじ環境未来島体験ツアーの開催
あわじ環境未来島構想に基づき、島内で展開されているプロジェクト現場等を体験・見学するツアーを開催
- (2)過去の体験ツアー訪問先のとりまとめ
過去に体験ツアーで訪問した施設等を分野別にとりまとめ、ホームページで情報提供



2024年度に実施した体験ツアーの様子
(ちりめんじゃこ選別体験、お香づくり体験)

3. ロードマップ

項目	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)
あわじ環境未来島体験ツアー	毎年度開催・視察受入れ (随時)		
視察先の情報提供	アンケート等による検証	視察先の整理・取りまとめ	ホームページで情報提供

1. 事業概要

淡路島のため池数は約1万カ所! ため池は、モンスーン気候で水稲作の盛んな国・地域（インド、中国、タイ、台湾、スリランカ等）において雨期の水を営農に活かすために数多く存在し、食料生産だけではなく生態系保全、生活用水源、資源循環などSDGsの観点からも重要な地域資源となっている。

兵庫県淡路島は世界有数のため池密集地域であり、ため池文化の伝承に加え、早くからため池の新たな視点として「豊かな海を再生するかいぼり」、「総合治水」、「水上太陽光発電」などの利活用を進めている。このたびの万博を機にこれらの取組を国内外に発信するとともに、「いのち輝くため池の未来デザイン」について文化的・技術的交流を深める。

2. R7年度実施内容【2百万円】

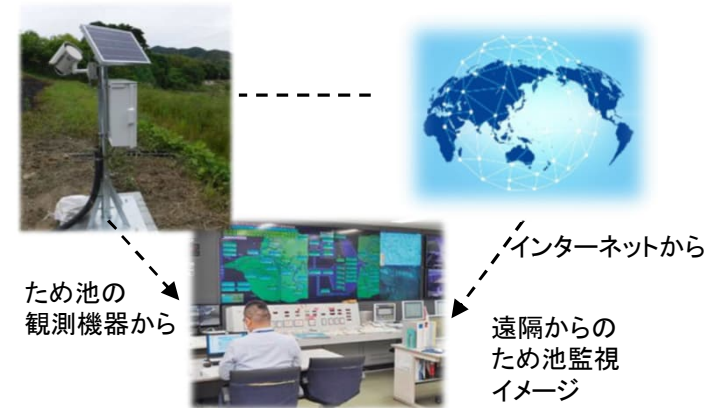
① 国内外交流イベントの開催

万博来場者も参加可能な交流体験イベントとして、真夏のかいぼり体験会等を通常のかいぼり時に協力頂いている協力団体と一緒に開催



② ため池シンポジウムの開催

ため池に精通した学識経験者や普段から「かいぼり」に協力してもらっている団体の皆さんを招聘してシンポジウムを開催し、ため池の未来デザインを討論



③ 未来のため池保全の実証

インターネットなどの先端技術導入し、ため池に行かなくても池の状況把握が出来るようなため池のスマート管理の展示場を設置し、見学会を開催

3. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
① イベント開催	既存事業での意識醸成	プレイベント実施	イベント開催
② シンポジウム開催			シンポ開催
③ 先端技術導入		先端技術導入の検討・実証	

1. 事業概要

大阪・関西万博に合わせ、淡路島の豊かな自然、歴史文化、農業・漁業・畜産業、地場産業、食などを活かした多彩な観光コンテンツやイベントなど幅広い取組を「AWAJI 島博」として展開し、島内への更なる誘客を促進する。

このため、島博の積極的なプロモーションを展開し、機運醸成を図る。

2. R7年度実施内容【3百万円】

(1) ロゴマーク等を活用した各種広報活動の展開【1百万円】

うちわ、ウエットティッシュ等の啓発グッズを作成、新聞や旅行雑誌、SNSに広告を掲載し、島博をPR

(2) ホームページによる情報発信【0.2百万円】

「淡路島ならではの本物体験」コンテンツの紹介や予約・販売をはじめ、イベントカレンダー、デジタルスタンプラリーなど行催事のお知らせを発信

(3) 広告プロモーション【0.5百万円】

関西国際空港プロモーションスペースや到着口等において特設ブースを設置し、首都圏等遠方からの誘客のため、「AWAJI 島博」をはじめとした淡路島のPRを行う

(4) 淡路島ウェブスタンプラリー【1百万円】

地域の幅広い取組を側面的に支援するため、周遊促進のプラットフォームとして淡路島ウェブスタンプラリーを実施



3. ロードマップ

項目	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)
(1) 各種広報活動の展開	統一ロゴの作成	各種広報活動の展開	
(2) 情報発信	ホームページの開設・情報発信		
(3) 広告プロモーション			プロモーションの実施
(4) 淡路島ウェブスタンプラリー		システム構築	淡路島ウェブスタンプラリーの実施

1. 事業概要

貴重な遺産である鳴門の渦潮を守り後世に伝えていくため、平成26年度から世界遺産登録に向けた取り組みを行っている。これまでの学術調査の結果や渦潮の「顕著な普遍的価値」、渦潮を通じた地球温暖化など人類共通の環境問題等について、令和7年度に開催される大阪・関西万博のタイピングをとらえ、SDGsの観点から国内外へ情報発信を行い、今後の世界遺産登録に向けた機運の醸成を図る。

2. R7年度実施内容【14百万円】

(1)国際シンポジウム【6百万円】

国内外の関係者参加による渦潮を中心に人々と海との関わりに関する国際シンポジウムを開催

(2)世界遺産登録に向けた普及啓発【2百万円】

(3)世界遺産登録に向けた学術調査【6百万円】

- ①鳴門海峡の渦潮の世界遺産としての顕著な普遍的価値を立証するための追加調査
- ②海外類似資産研究者との共同研究



3. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
国際シンポジウム		国内外招聘者調整、開催に向けた調整 → 国際シンポジウムの実施	
普及啓発	各種イベント等での普及啓発		
学術調査	国内外での学術調査		

1. 事業概要

大阪・関西万博の開催で淡路島へも多くの人が訪れる機会に、淡路島たまねぎの伝統品種「淡路中甲高黄」の認知度向上を図るため、南あわじ市の大型直売所「美菜恋来屋」で、淡路島たまねぎの商品陳列棚に「淡路中甲高黄」の紹介POPを設置してPRを行う。

2. R7年度実施内容

全国で栽培されるたまねぎ主要品種の礎であるとともに、日本農業遺産に認定された「南あわじ地域の水稲・たまねぎ・畜産の生産循環システム」においても、大きな役割を果たしてきた「淡路中甲高黄(あわじちゅうこうだかき)」のおいしさと歴史を、美菜恋来屋店頭のPOPで紹介し、淡路島たまねぎの魅力をもっと知る契機とする。

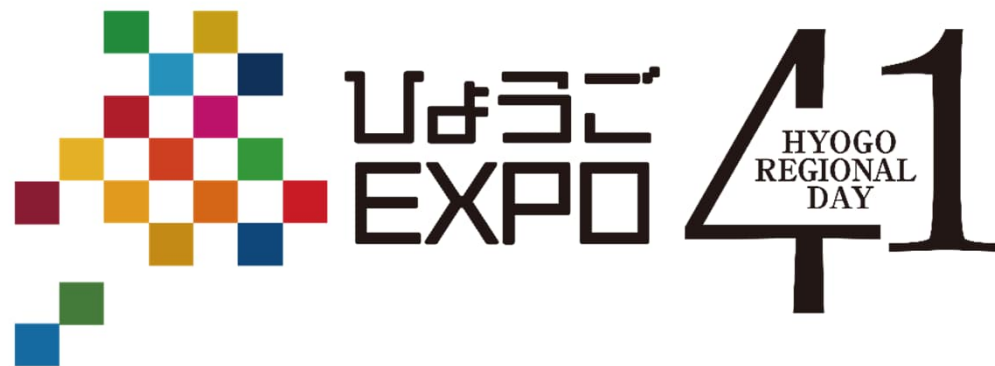


画像はイメージ

3. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
「淡路中甲高黄」フェア			イベント実施

4 ひょうご EXPO 41の展開



4 ひょうご EXPO 41による魅力発信

【R7事業費：5百万円】



・万博開催期間中、兵庫県内41市町の魅力を集中的に発信する「**市町の日**」を設定。県内全域の人々が**万博を身近に感じ、ふるさとの魅力を見つめ直すきっかけとする。**

・市町実施イベントを各種媒体、インフルエンサー等を活用して発信し、市町の認知度向上および兵庫への誘客を促進。

①ひょうご EXPO 41（市町の日）概要

実施日

- ・万博期間中、**1市町につき1日**実施 ※36市町が日程決定済み
- ・複数市町で実施の場合は、合計日数内（例）3市町の場合は3日以内

実施内容(例)

万博会場、県内各地で市町や地域単位の情報発信等を集中的に実施

実施場所		内容(例)	
万博会場	関西パビリオン 兵庫県ゾーン	メインホール	伝統文化・観光PR動画放映、地元出身者によるトークイベント等
		コリドー	地場産業・特産品PRのための実物展示、動画放映、ポスター展示等
	各催事場(ギャラリーWEST等)	地場産品の魅力を伝えるファッションショー、ワークショップ等	
兵庫県内	ひょうごEXPO TERMINAL(県立美術館)回廊	特産品の物販、パ〇礼展示、PRキャンペーン等	
	各地(各市町等)	※各市町域内で「市町の日」イベント開催等	



②プロモーション

- ・県専用WEBサイト「イベントカレンダー」へ掲載するとともに、「7 ①万博施策の一体的プロモーション」の中で各種媒体を活用した広報を実施
- ・各市町イベント実施日を掲載したポスター・チラシの配布
- ・インフルエンサーを活用した「ひょうごEXPO 41 PR動画」によるプロモーション 等

ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
イベント開催	企画検討	本開催に向けた準備	本開催
情報発信			広報

5 ひょうご EXPO DREAM BUILDERSの実施



5 ひょうごEXPO DREAM BUILDERS (子どもの夢プロジェクト) の実施

【R7事業費：51百万円】

※下表④、⑤の事業費を計上
(①～③は展示設計・制作費
の中で実施)



- ・万博という特別な機会に兵庫県の子どもたちが参加できる企画を実施し、「未来に対してワクワクする」、「楽しく学び、その経験が未来につながる」など、今までに無い経験や新しい価値観に触れる機会を創出。
- ・兵庫の地域資源や魅力に触れ・知ること、**子どもたちの兵庫へのシビックプライドを醸成**。

①コンセプト

子どもたちが**主体的に**万博に関わり、子どもと**共創**するプロジェクト

大切にしたい5つの視点



挑戦 失敗してもいいからチャレンジできる

能動 自分から積極的にアクションを起こせない子どもたちも活躍



個性 自分の活かし方を見つけるきっかけ

包摂 誰一人取り残さない

体感 5感で感じられる



②プロジェクト内容

事業名	R 6	R 7 ※画像はイメージ
①ミライのひょうごのまちを描こう (絵画) 【小・中学生】	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休みの自由課題等で「ミライのひょうごのまち」をテーマに絵画作品を募集 【応募枚数】 県内60校：679枚 兵庫津イベント：7枚 	<ul style="list-style-type: none"> ・応募のあった絵画作品をデジタル化し、1つの大きなまちとして、ひょうごEXPO TERMINAL (兵庫県立美術館ギャラリー) に展示 ・実物絵画もギャラリー外側の回廊壁面に展示 
②ひょうごの宝探し (動画・写真) 【中・高生、大学生】	<ul style="list-style-type: none"> ・FPプレーヤーの思いや地域の宝を取材・撮影した動画等を募集。学年単位で取り組む学校もあり、3分動画部門では、13校56チームが参加 (2月頃に優秀賞等を選考) ・15秒動画：18本、写真：70枚の応募あり 	<ul style="list-style-type: none"> ・関西パビリオン兵庫県ゾーン等で動画などを展示 【3分動画】ひょうごEXPO TERMINALで放映 ※優秀賞等を受賞した作品は万博会場 (関西パビリオン多目的1F) で表彰式・発表会を実施 【15秒動画・写真】兵庫県ゾーン (回廊) で放映

5 ひょうごEXPO DREAM BUILDERS (子どもの夢プロジェクト) の実施



②プロジェクト内容

事業名	R 6	R 7 ※画像はイメージ
③はばたけコウノトリ (折り紙) 【未就学児・小学生】	<ul style="list-style-type: none"> 県内各地の施設等と連携した折り紙イベントを実施 コウノトリ文化館・兵庫津ミュージアム等の公共施設と連携したイベントや、フィールドパビリオンフェスティバル2024など 14イベントで723羽のコウノトリを制作 	<ul style="list-style-type: none"> 関西パビリオン兵庫県ゾーン (回廊空間) に展示
④ひょうごの魅力 を届ける仕事体験 【小・中学生】	<ul style="list-style-type: none"> 県内の小・中学生24名が参加し、各地のフィールドパビリオンを仕事として体験。 【体験スケジュール】 11/3～4：丹波焼、但馬牛、醤油等 1/19：夕社、能 3/2：明石海峡大橋 (メンテナンス) 	<ul style="list-style-type: none"> 体験を通じて得た学びや気づきをひょうごの魅力としてまとめ、万博会場で発表 発表会は、5/20～25に関西パビリオン多目的エリアで開催するFPウィークの中で実施
⑤ひょうごこども万博 【未就学児・小学生】	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの主体性を引き出す子ども向け授業を実施 (夢のを見つけ方、夢の叶え方、テクノロジー、コミュニケーションなど) 【リアル授業】 ・こどもの館や神戸ハーバーランド umieなどで5回の授業を実施 【オンライン授業】※アーカイブ動画の配信もあり ・1月以降、毎週テーマを変えて授業を配信 	<ul style="list-style-type: none"> 県内5か所で子どもたちの夢を実現するイベント (夢のスピーチコンテスト、子供縁日、起業家体験、職業体験等) を実施 【主な会場 (予定)】 ・神戸アリーナ ・上山高原 ・篠山城跡 ほか ※会場は調整中のため変更の場合あり

ロードマップ

項目	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)
プロジェクト企画・推進	企画検討	プロジェクトの準備	実施 (成果発表)

6 公民連携による万博子ども招待 プロジェクト

6 公民連携による万博子ども招待プロジェクト

【R7事業費：44百万円】



・今ここでしか体験できない特別な学びの場となる「大阪・関西万博」に**子どもたちを招待する兵庫県の取組に賛同する企業と連携し、万博子ども招待プロジェクトを実施。**

・万博会場で公式パビリオンや民間パビリオンなどの**SDGs達成に向けた先進的な取組等**に触れたり、事前・事後学習でフィールドパビリオンを学ぶなど、**未来社会や将来の自分を考えたり、SDGsへの関心を高める機会**とする。

①「公民連携による万博子ども招待プロジェクト」概要

実施内容

- ・学校行事として、万博会場への訪問を希望する県内の学校へチケットを配布。
- ・兵庫県の取組に賛同する企業から、必要なチケットの寄附を受領。今後の追加希望分は県で負担。

連携企業

- ・川崎重工業株式会社
- ・株式会社神戸製鋼所
- ・シスメックス株式会社

対象者

- ・県内学校に通う、小・中学生及び高校生（特別支援学校含む）のうち、訪問を希望する学校・児童生徒。

②プロジェクトの進捗

各学校への説明会、万博会場への訪問意向調査の実施

- R6.4月：各学校長会等で事業説明
- R6.6月：各学校向けにオンライン説明会
- R6.7月：各学校へ意向調査を実施
- R6.9月：意向調査結果とりまとめ・公表

各学校へのサポート

- ▶ 学校の意向を踏まえ、バス手配やパビリオン団体休憩所の予約等を県事務局が対応
- ▶ 万博会場の安全対策等状況について、博覧会協会最新情報を説明会等において発信
- ▶ その他、県・市町教育委員会とも適宜情報共有を行い、学校や市町が抱える不安を払拭

ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
プロジェクト企画・推進	企画検討	共同会見 説明会 意向調査	各学校へのサポート 万博会場訪問→アンケート実施

<参考：連携企業との共同記者会見の実施>

万博開幕1年前を契機に、賛同する3社との共同会見を4/11に実施



参考：第一次訪問意向調査結果(9/20時点)

- ▶ 意向調査回答率：約7割
- ▶ 訪問意向学校数：約280校 ※全対象数の約21%
- ▶ 訪問意向生徒数：約7万人 ※全対象数の約13%